

- 問1 日本銀行は、一般の銀行とは異なる特殊な役割を担っています。日本銀行が「銀行の銀行」と呼ばれる理由として、業務の実態を正しく述べたものはどれですか。 (2019年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 全国の民間銀行の経営権を政府に代わって所有し、銀行の支店網を管理しているから。 | 2. 民間金融機関との間で当座預金のやり取りを行い、金融システム全体の資金の過不足を調整しているから。 | 3. すべての国民が日本銀行に口座を持ち、民間銀行を介さずに預金ができる仕組みを提供しているから。 | 4. 銀行の窓口で行われる振り込みや引き出しの業務を、すべて日本銀行が遠隔で代行しているから。 |
|--|---|---|---|
- 問2 日本銀行が「銀行の銀行」としての役割を果たす際、一般の銀行（民間金融機関）との間で行われる具体的な業務の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 民間金融機関に代わって、所得税などの税金の収納や、年金の支払いといった国の事務を行う。 | 2. 民間金融機関が保有する資金が不足した際などに、その機関に対して資金の貸し出しを行う。 | 3. 民間金融機関からの依頼を受けて、新しい一万円札や五千円札などの日本銀行券を発行する。 | 4. 民間金融機関が倒産しないよう、一般の個人や企業に対して日本銀行が直接融資を行う。 |
|--|---|---|---|
- 問3 日本銀行は、日本の中央銀行として一般の銀行とは異なる3つの大きな役割を持っています。そのうち、民間銀行に対して資金の貸し出しを行ったり、決済のための口座を提供したりする役割を何と呼びますか。 (2025年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|---------|-------------|
| 1. 銀行の銀行 | 2. 政府の銀行 | 3. 発券銀行 | 4. 日本政策投資銀行 |
|----------|----------|---------|-------------|
- 問4 景気が後退している不景気の際、政府が実施する財政政策と、日本銀行が実施する金融政策の組み合わせとして最も適切な説明はどれですか。 (2024年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 政府が公共投資を増やして雇用を安定させ、日本銀行が民間銀行に国債を売却することで金利の上昇を促す。 | 2. 政府が公共投資を増やして仕事や需要を創出し、日本銀行が民間銀行から国債を買い取ることで市場の通貨量を増やす。 | 3. 政府が所得税や消費税の増税を行って消費を抑制し、日本銀行が民間銀行から国債を買い取ることで市場の通貨量を増やす。 | 4. 政府が公共投資を減らして財政支出を抑え、日本銀行が民間銀行に国債を売却することで市場の通貨量を減らす。 |
|--|---|---|--|
- 問5 企業が事業資金を集める際、銀行などの金融機関を介さずに、株式や社債などを発行して家計などの資金の出し手から資金を集める仕組みを何と呼びますか。 (2026年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 現物取引 | 2. 直接金融 | 3. 信用創造 | 4. 間接金融 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問6 日本の中央銀行である日本銀行は、私たち個人や一般の企業と直接取引を行うことはありませんが、民間の銀行（一般の銀行）に対しては資金の貸し出しや預金の受け入れを行っています。このような役割を何と呼びますか。 (2020年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|----------|----------|
| 1. 市中銀行 | 2. 発券銀行 | 3. 政府の銀行 | 4. 銀行の銀行 |
|---------|---------|----------|----------|
- 問7 景気変動のモデル図において、経済活動が停滞し、景気の「谷」にあたる時期に日本銀行が実施する金融政策について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|--------------------------------------|---|------------------------------------|
| 1. 日本銀行が紙幣の発行を停止し、民間の経済活動を制限する政策 | 2. 日本銀行が一般の銀行に国債を売り、市場に流通する通貨量を減らす政策 | 3. 日本銀行が一般の銀行から国債を買い入れ、市場に流通する通貨量を増やす政策 | 4. 政府が所得税や法人税の税率を引き上げ、景気の過熱を抑制する政策 |
|----------------------------------|--------------------------------------|---|------------------------------------|
- 問8 好況時に日本銀行が行う金融政策において、日本銀行と市中銀行の間で行われる「国債」のやり取りと、その結果として生じる「通貨量」の変化の組み合わせとして、正しいものはどれですか。 (2026年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 1. 日本銀行が国債を買い、市場の通貨量が増加する。 | 2. 日本銀行が国債を売り、市場の通貨量が減少する。 | 3. 日本銀行が国債を売り、市場の通貨量が増加する。 | 4. 日本銀行が国債を買い、市場の通貨量が減少する。 |
|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
- 問9 日本において広く行われている、銀行などの金融機関が家計から預金として集めた資金を、家計に代わって企業などの資金を必要とする組織に貸し出す仕組みを何といいますか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 公共金融 | 2. 直接金融 | 3. 間接金融 | 4. 消費者金融 |
|---------|---------|---------|----------|
- 問10 日本において「中央銀行」としての役割を担っているのは日本銀行です。日本銀行は、日本の紙幣（日本銀行券）を発行することができる唯一の機関ですが、この役割を何と呼びますか。 (2017年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|---------|---------|
| 1. 銀行の銀行 | 2. 政府の銀行 | 3. 発券銀行 | 4. 市中銀行 |
|----------|----------|---------|---------|
- 問11 日本銀行は、私たち個人や一般の企業とは直接取引を行わず、民間の銀行との間で資金の貸し出しや預金の受け入れを行います。このような中央銀行としての役割を何と呼びますか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|---------|----------|
| 1. 銀行の銀行 | 2. 国民の銀行 | 3. 発券銀行 | 4. 政府の銀行 |
|----------|----------|---------|----------|
- 問12 日本の金融システムにおける資金の流れのうち、企業が株式を発行して資金を調達する「直接金融」の説明として、最も適切なものはどれか。 (2021年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 日本銀行が景気調整のために、市中銀行に資金を供給したり回収したりする仕組み。 | 2. 個人が自動車の購入などの消費を目的として、金融機関から一時的に資金を借りる仕組み。 | 3. 銀行が家計から預金として集めた資金を、銀行自身の判断で企業に貸し出す仕組み。 | 4. 企業が発行した有価証券を、資金の出し手が直接購入することで資金を融通する仕組み。 |
|---|--|---|---|
- 問13 景気が後退し、物価が下がり続けるデフレ傾向にあるとき、日本銀行が市場に出回る通貨の量を増やして景気を刺激しようとする際に行う操作として、最も適切な説明を選択してください。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 日本銀行が保有する国債を民間の金融機関に売り、その代金を回収することで市場の資金を減らす。 | 2. 政府が道路や橋などの公共事業への支出を増やし、社会全体の仕事の量を増やす。 | 3. 公正取引委員会が価格カルテルを制限することで、企業間の公正な競争を促進する。 | 4. 日本銀行が民間の金融機関から国債を買い入れ、その代金を支払うことで市場の資金を増やす。 |
|--|--|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 民間金融機関との間で当座預金のやり取りを行い、金融システム全体の資金の過不足を調整しているから。	日本銀行は中央銀行として、民間の銀行などが預け入れている当座預金を通じて、金融機関同士の資金の決済を仲介したり、不足している銀行へ資金を貸し出したりしています。このように「銀行にとっての銀行」として機能することで、経済全体の血液であるお金の流れを安定させています。民間銀行の経営権を所有したり、個人の預金口座を管理したりすることはありません。
問2	答え 2 民間金融機関が保有する資金が不足した際などに、その機関に対して資金の貸し出しを行う。	日本銀行は、一般の銀行が一時的な資金不足に陥った際に「資金の貸し出し」を行ったり、各銀行が余剰資金を預けるための「預金の受け入れ」口座を提供したりします。これにより、民間金融機関同士のお金のやり取り（決済）がスムーズに進むよう調整しています。国の事務を行うのは「政府の銀行」、紙幣を発行するのは「発券銀行」としての役割であり、混同しないよう注意が必要です。
問3	答え 1 銀行の銀行	日本銀行は、私たち個人や一般の企業とは直接取引を行わず、民間銀行などの金融機関との間で資金の貸し借りや決済を行うため「銀行の銀行」と呼ばれます。なお、国の税金などの出し入れを管理する役割は「政府の銀行」、紙幣（日本銀行券）を発行する役割は「発券銀行」と呼ばれ、これらが日本銀行の主要な3機能です。
問4	答え 2 政府が公共投資を増やして仕事や需要を創出し、日本銀行が民間銀行から国債を買い取ることで市場の通貨量を増やす。	不景気のときは民間企業の活動や家庭の消費が落ち込むため、政府は公共事業を増やす財政政策によって直接的な需要を生み出し、景気の下支えを図ります。これに合わせ、中央銀行である日本銀行は民間銀行から国債を買い入れる「買いオペレーション」を行い、代金として現金を供給することで市場の通貨量を増やし、金利を下げて企業が資金を借りやすくする金融政策を実施します。
問5	答え 2 直接金融	企業などの借り手が、株式や社債を発行して金融機関を介さずに資金の出し手から資金を集める仕組みを直接金融といいます。銀行などを通して資金を借り入れる仕組みは間接金融と呼ばれます。
問6	答え 4 銀行の銀行	日本銀行は、民間の金融機関（一般の銀行など）を相手に、資金が不足している際に貸し付けを行ったり、余剰資金を預金として受け入れたりする役割を担っています。これを「銀行の銀行」と呼びます。個人が日本銀行に口座を作ることはできませんが、銀行同士の決済や、金融システムの安定のためにこの機能が使われています。
問7	答え 3 日本銀行が一般の銀行から国債を買い入れ、市場に流通する通貨量を増やす政策	景気が落ち込んでいる時期（不景気）には、日本銀行は市場の通貨量を増やすことで景気の回復を図ります。具体的には、日本銀行が一般の民間銀行が保有している国債を買い上げる「買いオペレーション」を実施します。これにより、銀行が持つ資金が増え、企業や個人への貸し出しが促進されることで、経済活動の活性化を狙います。
問8	答え 2 日本銀行が国債を売り、市場の通貨量が減少する。	日本銀行が国債を売ると、その対価として市中銀行から日本銀行へ現金が支払われます。その結果、市中銀行が保有する資金が日本銀行に吸収されるため、市場全体に流通する通貨量は減少します。この一連の操作は、インフレーションを防止し、物価を安定させるために行われます。
問9	答え 3 間接金融	資金の出し手（家計）と受け手（企業）の間に銀行などの金融機関が介在し、預金という形で資金を集めて仲介を行う仕組みです。資金の出し手が直接、どの企業に資金を供給するかを選択しないため、このように呼ばれます。
問10	答え 3 発券銀行	日本銀行は、一国の金融システムの中心となる中央銀行です。日本銀行券を独占的に発行する「発券銀行」としての役割のほか、一般の銀行に対して資金の貸付や預金の受け入れを行う「銀行の銀行」、政府の資金を管理する「政府の銀行」という3つの大きな役割を果たしています。
問11	答え 1 銀行の銀行	日本銀行は、一般の銀行（市中銀行）に対して資金を貸し出したり、銀行が保有する当座預金を受け入れたりする役割を担っています。これにより、金融システム全体の資金の過不足を調整し、経済の安定を図っています。一般の個人や企業とは取引を行わない点が、普通の銀行との大きな違いです。
問12	答え 4 企業が発行した有価証券を、資金の出し手が直接購入することで資金を融通する仕組み。	直接金融は、借り手である企業が発行した株式や社債を、貸し手（投資家）が市場を通じて直接買い取ることで成立します。銀行が預金者と企業の間にとってリスクを負う間接金融に対し、直接金融では貸し手が直接的なリスクを負う代わりに、配当などのリターンを得る仕組みとなっています。
問13	答え 4 日本銀行が民間の金融機関から国債を買い入れ、その代金を支払うことで市場の資金を増やす。	不況の際には、日本銀行が民間の金融機関から国債などを買い取る「買いオペレーション」を行います。これにより、代金として支払われた現金が民間金融機関に流れ、企業や個人への貸し出しが容易になることで、経済活動を活性化させる狙いがあります。国債を売る操作は、景気が過熱してインフレの恐れがあるときに行われる逆の操作です。

問1	日本の中央銀行である日本銀行の役割に関する説明として正しいものを、次のうちから1つ選びなさい。 (2023年 宮崎県公立入試 類似)			
	1. 国の税金を直接徴収し、公共事業の予算支出をすべて取り仕切る。	2. 一般の銀行などの金融機関から預金を預かり、資金の貸出を行う。	3. 世の中に流通している通貨の約9割を占める現金を直接発給・管理する。	4. 一般の個人や企業からの預金を受け入れ、個人への資金貸出を行う。
問2	不景気（不況）の際に、日本銀行が実施する「金融政策」の説明として正しいものはどれか。なお、この政策は世の中の通貨量を調整することで景気の安定を図ることを目的としている。 (2025年 北海道公立入試 類似)			
	1. 日本銀行が民間金融機関に国債などを売り、代金を回収することで市場の通貨量を増やす。	2. 日本銀行が公共事業の計画を立て、道路や橋の建設を通じて市場の通貨量を増やす。	3. 日本銀行が民間金融機関から国債などを買い入れ、代金を支払うことで市場の通貨量を増やす。	4. 日本銀行が国民に対して増税を働きかけ、政府が自由に使える通貨量を増やす。
問3	日本銀行が景気回復を目的として、民間の金融機関が保有する国債を買い入れることで、市場に流通する通貨の量を増やす政策を何といいますか。 (2025年 神奈川県公立入試 類似)			
	1. 買いオペレーション	2. 売りオペレーション	3. マイナス金利解除	4. 預金準備率操作
問4	銀行は人々から預かった預金を、資金を必要とする企業や個人に貸し出す「金融仲介」の役割を担っています。銀行がこの活動を通じて利益を得るための仕組みについて説明したものと、最も適切なものはどれですか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)			
	1. 預金者から徴収する口座管理手数料と、日本銀行から受け取る補助金のみを収益とする	2. 預金者に支払う利子の合計を、貸し出しの際に受け取る利子の合計よりも多く設定し、その差額を収益とする	3. 貸し出しの際に受け取る利子の合計を、預金者に支払う利子の合計よりも多く設定し、その差額を収益とする	4. 貸し出しと預金の利子を同額に設定し、企業が利益を上げた際に分配される配当のみを収益とする
問5	銀行、家計、企業の間で行われる資金のやり取りにおいて、銀行が果たす役割と「利子」の仕組みについての説明として最も適切なものはどれですか。 (2024年 島根県公立入試 類似)			
	1. 家計が銀行へ預けた預金に対して、銀行は元本に利子を加えて払い戻し、企業への貸し出しに対しては元本と利子の返済を受ける。	2. 家計は銀行に預金を行うことで、企業の経営に直接参加する権利を得る代わりに、利子を受け取ることができなくなる。	3. 企業が銀行から借りた資金の対価として支払うのは「配当金」であり、これは企業の業績が悪化しても支払額が変わることはない。	4. 銀行は企業から受け取った利子の全額を、手数料としてそのまま政府の財源に充てなければならない。
問6	景気が後退している不景気の際、政府が実施する財政政策と、日本銀行が実施する金融政策の組み合わせとして最も適切な説明はどれですか。 (2024年 福島県公立入試 類似)			
	1. 政府が公共投資を減らして財政支出を抑え、日本銀行が民間銀行に国債を売却することで市場の通貨量を減らす。	2. 政府が公共投資を増やして仕事や需要を創出し、日本銀行が民間銀行から国債を買い取ることで市場の通貨量を増やす。	3. 政府が公共投資を増やして雇用を安定させ、日本銀行が民間銀行に国債を売却することで金利の上昇を促す。	4. 政府が所得税や消費税の増税を行って消費を抑制し、日本銀行が民間銀行から国債を買い取ることで市場の通貨量を増やす。
問7	日本の中央銀行である日本銀行には、一般の民間銀行にはない特有の役割が3つあります。その役割の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 千葉県公立入試 類似)			
	1. 外国通貨を発行する「国際銀行」、国会議員の政治資金を専門に管理する「政治の銀行」、民間銀行の全ての経営方針を決定する「統括の銀行」	2. 日本銀行券を発行する「発券銀行」、国庫金の管理などを行う「政府の銀行」、民間銀行に対し資金の貸出や預金の受け入れを行う「銀行の銀行」	3. 国債の発行を独占する「国債の銀行」、海外の投資家へ直接融資を行う「投資の銀行」、地方自治体の予算編成を行う「地方の銀行」	4. 日本銀行券を発行する「発券銀行」、公務員の給料を直接振り込む「給与の銀行」、一般の個人や企業が自由に預金できる「国民の銀行」
問8	ある旅行者が、出発前に1ドル100円のレートで2万円をすべてドルに外貨交換しました。旅行中に50ドルを使用し、帰国後に残ったドルをすべて1ドル110円のレートで日本円に戻した場合、手元に戻ってくる金額はいくらになりますか。 (2026年 福島県公立入試 類似)			
	1. 15,000円	2. 11,000円	3. 16,500円	4. 22,000円
問9	日本銀行が「発券銀行」として紙幣の発行を独占的に行い、世の中に出回るお金の量を管理している主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 岐阜県公立入試 類似)			
	1. 日本銀行の利益を最大化し、その利益をすべて社会保障費に充てるため	2. 政府の財政赤字を埋めるために、必要なだけ自由に紙幣を増産するため	3. 民間の銀行に貸し出す資金を無限に確保し、企業の倒産を完全に防ぐため	4. 通貨の価値を安定させ、物価の変動が経済に悪影響を及ぼさないようにするため
問10	銀行は家計から預金として集めた資金を、資金を必要とする企業などに貸し出しています。このとき、銀行の主な収益源となる「利ざや」が発生する仕組みについて、正しく説明しているものはどれですか。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)			
	1. 預金金利と貸出金利を同等に設定し、預金の総額が増えることによって利益を得る。	2. 銀行が預金者に支払う預金金利を、貸出先から受け取る貸出金利よりも高く設定する。	3. 銀行が貸出先から受け取る貸出金利を、預金者に支払う預金金利よりも高く設定する。	4. 中央銀行から支払われる補助金を、預金者に利子として分配した残りを収益とする。
問11	かつて行われていた「物物交換」と比較したとき、社会に貨幣が普及したことで得られた経済的な利点として、適切な説明はどれですか。 (2023年 富山県公立入試 類似)			
	1. すべての商品の価値が貨幣の素材（金属など）の重さだけで決まるようになり、価格変動がなくなった。	2. 貨幣自体が食べ物や衣服のように生活に直接役立つため、交換しなくても豊かになれるようになった。	3. 貨幣があれば労働をする必要がなくなり、社会全体の生産性が飛躍的に向上した。	4. 自分の欲しいものと相手の欲しいものが一致しなくても、貨幣を介することで取引が可能になった。
問12	好景気（好況）の局面などで、社会全体の需要が供給を上回り、モノやサービスの価格が全体的に継続して上昇する現象を何といいますか。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)			
	1. インフレーション	2. 円高	3. デフレーション	4. スタグフレーション

答え合わせ・解説

問1	答え 2 一般の銀行などの金融機関から預金を預かり、資金の貸出を行う。	日本銀行は「銀行の銀行」としての役割を持っており、一般の個人や企業から預金を預かることはありません。民間金融機関から預金を預かったり、資金の貸出を行ったりしています。
問2	答え 3 日本銀行が民間金融機関から国債などを買い入れ、代金を支払うことで市場の通貨量を増やす。	日本銀行が国債を買い入れる操作は「買いオペレーション」と呼ばれ、その代金が民間金融機関に支払われることで、結果として市場の通貨量が増加します。売りオペレーションは好景気で物価が上がりがすぎている時に通貨量を減らすために行われる操作であり、公共事業や増税は政府が行う「財政政策」にあたるため、日本銀行の役割とは区別が必要です。
問3	答え 1 買いオペレーション	不況の際、日本銀行が市場の通貨量を増やして景気を刺激するために行う手法です。日本銀行が一般の銀行から国債を買い取り、その代金を支払うことで、銀行が企業や個人に貸し出せる資金を増やします。この一連の動きにより、世の中に出回るお金の量（マネーストック）が拡大します。
問4	答え 3 貸し出しの際に受け取る利子の合計を、預金者に支払う利子の合計よりも多く設定し、その差額を収益とする	銀行の主な収益源は、資金を貸し出した相手から受け取る利子と、預金者に支払う利子の差額（利ざや）です。銀行が安定して経営を行い、預金を安全に管理し続けるためには、貸出金利を預金金利よりも高く設定する必要があります。企業が株主に利益を分配する「配当」や、事務的な作業の対価である「手数料」とは区別して理解することが重要です。
問5	答え 1 家計が銀行へ預けた預金に対して、銀行は元本に利子を加えて払い戻し、企業への貸し出しに対しては元本と利子の返済を受ける。	銀行は、家計から預かった「預金」に対して利子を支払う一方で、企業への「貸し出し」の際にも利子を受け取ります。一般的に貸し出しの利子率の方が預金の利子率よりも高く設定されており、その差額が銀行の主な収益源となります。これにより、資金が余っている家計から資金を必要としている企業へと、効率的にお金が流れる仕組みが成り立っています。
問6	答え 2 政府が公共投資を増やして仕事や需要を創出し、日本銀行が民間銀行から国債を買い取ることで市場の通貨量を増やす。	不景気のときは民間企業の活動や家庭の消費が落ち込むため、政府は公共事業を増やす財政政策によって直接的な需要を生み出し、景気の下支えを図ります。これに合わせ、中央銀行である日本銀行は民間銀行から国債を買い入れる「買いオペレーション」を行い、代金として現金を供給することで市場の通貨量を増やし、金利を下げて企業が資金を借りやすくなる金融政策を実施します。
問7	答え 2 日本銀行券を発行する「発券銀行」、国庫金の管理などを行う「政府の銀行」、民間銀行に対し資金の貸出や預金の受け入れを行う「銀行の銀行」	日本銀行は、日本で唯一の紙幣発行権を持つ「発券銀行」です。また、国の税金の受け入れや国債に関する事務を行う「政府の銀行」としての役割、そして一般の個人ではなく民間銀行などの金融機関と取引を行う「銀行の銀行」としての役割を担っています。一般の市民が口座を作ったり、公務員の給与を直接支払ったりすることはありません。
問8	答え 3 16,500円	出発時に2万円を1ドル100円で交換すると200ドル（20,000 ÷ 100）になります。そこから旅行中に50ドルを消費したため、残金は150ドルです。帰国時に1ドル110円のレートで円に戻すと、150ドル × 110円 = 16,500円となります。外貨を保有している間に円安（ドルの価値が上昇）が進んだため、円に戻した際の金額が増加した事例です。
問9	答え 4 通貨の価値を安定させ、物価の変動が経済に悪影響を及ぼさないようにするため	紙幣の発行主体が一つに限定されているのは、通貨の供給量を厳格にコントロールするためです。もしお金が世の中に増えすぎると、お金の価値が下がって物価が上がる「インフレ」を招き、逆に少なすぎると物価が下がり続ける「デフレ」を招く恐れがあります。日本銀行は「発券銀行」としての機能を活かし、景気の状態に合わせて通貨量を調整することで、物価の安定を目指しています。
問10	答え 3 銀行が貸出先から受け取る貸出金利を、預金者に支払う預金金利よりも高く設定する。	銀行は、資金が余っている家計などから「預金」を受け取り、その資金を必要としている企業などに「貸し出し」を行う金融仲介の役割を担っています。銀行の収益の柱は、貸し出した相手から受け取る利子（貸出金利）と、預金者に支払う利子（預金金利）の差額です。この差額を「利ざや」と呼び、銀行が安定して経営を行うためには、受け取る利子が支払う利子を上回っている必要があります。
問11	答え 4 自分の欲しいものと相手の欲しいものが一致しなくても、貨幣を介することで取引が可能になった。	物物交換では「自分が持っているもの」と「相手が欲しいがっているもの」が完全に一致しなければ取引が成立しませんでした。しかし、貨幣が交換手段として機能することで、いったん商品や貨幣に換え、その貨幣を用いて別の場所や時間で自分が必要なものを手に入れることができるようになりました。このように、貨幣は交換の不一致を解消し、取引を円滑にする背景を持っています。
問12	答え 1 インフレーション	好景気のときには人々の購買意欲が高まり、商品に対する需要が供給を上回ることによって、物価が継続的に上昇します。この現象をカタカナでインフレーションと呼びます。これに対し、不景気の時に物価が下がり続ける現象はデフレーションと呼ばれ、区別して理解する必要があります。

- 問1 景気が悪化して企業の生産活動や個人の消費が停滞している際、日本銀行は市場に流通する通貨の量を増やして景気を上向かせようとする「金融政策」を行います。このとき実施される「公開市場操作（買いオペレーション）」の具体的な内容として正しいものはどれですか。 （2025年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 日本銀行が民間銀行から国債などを買い取り、その代金として市場に資金を供給する。

2. 日本銀行が預金準備率を引き上げ、民間銀行が企業へ貸し出せる資金を制限する。

3. 日本銀行が新しい通貨の発行を停止し、円の価値を強制的に高める操作を行う。

4. 日本銀行が所有する国債を民間銀行に売り、市場から資金を吸い上げる。
- 問2 銀行の仕組みにおいて、預金者、銀行、企業の三者の間で流れる「利子」の関係について、正しい説明を選びなさい。 （2023年 和歌山県公立入試 類似）

1. 銀行が預金者に支払う利子は、銀行が企業から受け取る利子よりも多い。

2. 銀行は預金者に対して利子を支払わず、企業から受け取る利子のみで運営される。

3. 銀行が企業から受け取る利子は、銀行が預金者に支払う利子よりも多い。

4. 銀行は、企業から受け取った利子の全額を、そのまま預金者に分配する。
- 問3 銀行と、預金を行う家計、および資金を借りる企業との間で行われる利子のやり取りにおいて、銀行が利益を得るための条件として適切なものはどれですか。 （2024年 神奈川県公立入試 類似）

1. 企業が銀行に支払う利子の総額が、銀行が家計に支払う利子の総額を上回っていること。

2. すべての利用者が一定の預金を行うことで、銀行が利子を支払う必要がなくなること。

3. 家計が銀行から受け取る利子が、企業が銀行に支払う利子よりも多く設定されていること。

4. 景気が悪化した際に、銀行が貸出金利と預金金利の差をなくして資金の流動性を高めること。
- 問4 金融の仕組みにおいて、銀行などの金融機関を介さずに、企業が証券市場を通じて家計などから直接資金を調達する方式を何というか、名称を答えなさい。 （2018年 徳島県公立入試 類似）

1. 間接金融

2. 公的金融

3. 直接金融

4. 消費者金融
- 問5 インフレーションとは逆に、物価が継続的に下落し、貨幣の価値が上がっていく現象をデフレーションと呼びます。デフレーションが進行し、企業の利益減少が賃金カットや失業を招き、それによって消費がさらに冷え込んで物価が下がるという悪循環を何と呼びますか。 （2024年 北海道公立入試 類似）

1. バブル経済

2. スタグフレーション

3. 円安ドル高

4. デフレ・スパイラル
- 問6 日本銀行が公開市場操作において、民間金融機関から国債を買い入れる政策を実施した場合、その後の経済への影響として期待される因果関係の説明として正しいものはどれですか。 （2024年 香川県公立入試 類似）

1. 市場の通貨量が減ることで、物価の上昇が抑えられ、企業の過剰な在庫投資が抑制される。

2. 市場の通貨量が増えることで、民間の利子率（金利）が低下し、企業の設備投資が活発になる。

3. 市場の通貨量が減ることで、通貨の価値が上がり、輸入品の価格が下がることで消費が拡大する。

4. 市場の通貨量が増えることで、民間の利子率（金利）が上昇し、国民の預金意欲が高まる。
- 問7 日本の中央銀行である日本銀行は、その役割から「銀行の銀行」や「政府の銀行」と呼ばれています。日本銀行が直接、資金の貸し借りや預金の受け入れといった取引を日常的に行う対象として、最も適切な組み合わせを選びなさい。 （2024年 静岡県公立入試 類似）

1. 民間の金融機関と政府

2. 外国の個人投資家とNPO法人

3. 地方の工場と商店街

4. 一般の企業と家計（個人）
- 問8 不況（景気後退）の際、日本銀行が景気を刺激するために、民間の金融機関との間で行う「買いオペレーション」の仕組みとして、最も適切なものはどれですか。 （2024年 香川県公立入試 類似）

1. 日本銀行が民間金融機関から国債などを買い入れ、代金を支払うことで市場の通貨量を増やす。

2. 日本銀行が各金融機関の預金準備率を引き上げることで、銀行が貸し出せる資金の量を制限する。

3. 日本銀行が政府から直接国債を買い取り、公共事業のための予算を増やすことで消費を促す。

4. 日本銀行が民間金融機関に国債などを売却し、代金を回収することで市場の通貨量を減らす。
- 問9 企業が事業資金を集める際、銀行などの金融機関を介さずに、株式や社債などを発行して家計などの資金の出し手から資金を集める仕組みを何と呼びますか。 （2026年 徳島県公立入試 類似）

1. 間接金融

2. 直接金融

3. 現物取引

4. 信用創造
- 問10 日本の金融システムにおいて、銀行が家計から預金を集め、それを企業や個人へ貸し出すことで利益を得る仕組みについて、最も適切な説明を選びなさい。 （2016年 千葉県公立入試 類似）

1. 中央銀行から無利子で借り入れた資金をそのまま企業に貸し出し、企業からの寄付金を主な利益としている。

2. 預金の利子率と貸し出しの利子率は法律で同等に定められており、銀行は仲介手数料のみを利益としている。

3. 家計に支払う預金の利子率を、企業などへ貸し出す際の利子率よりも高く設定することで、預金者を増やす工夫をしている。

4. 家計に支払う預金の利子率を、企業などへ貸し出す際の利子率よりも低く設定することで、その差額を利益としている。
- 問11 私たちは、必要なものをすべて自分で作る「自給自足」の生活ではなく、他者が生産した物やサービスと自分の持つものをやり取りすることで生活しています。このような交換を円滑に行うために貨幣が担っている、商品の価値を共通の物差しとして数値化する役割を何といいますか。 （2023年 兵庫県公立入試 類似）

1. 価値の保存

2. 流通の強制

3. 価値の尺度

4. 支払いの手段
- 問12 日本銀行が実施する「売りオペレーション」と呼ばれる政策において、日本銀行と民間金融機関の間で行われる具体的なやり取りと、その直接的な効果を組み合わせたものとして正しいものはどれですか。 （2022年 栃木県公立入試 類似）

1. 日本政府が国債を「発行」し、日本銀行がそれを直接引き受けることで、市場の通貨量を「一定」に保つ。

2. 日本銀行が国債を「売り」、民間銀行から通貨を回収することで、市場の通貨量を「減少」させる。

3. 民間銀行が国債を「売り」、日本銀行から通貨を受け取ることで、市場の通貨量を「増加」させる。

4. 日本銀行が国債を「買い」、民間銀行へ通貨を支払うことで、市場の通貨量を「増加」させる。
- 問13 日本銀行が紙幣（日本銀行券）を独占的に発行する役割を、何と呼びますか。最も適切なものを1つ選びなさい。 （2025年 熊本県公立入試 類似）

1. 市中銀行

2. 銀行の銀行

3. 発券銀行

4. 政府の銀行

答え合わせ・解説

問1	答え 1 日本銀行が民間銀行から国債などを買い取り、その代金として市場に資金を供給する。	不況のときには、日本銀行が民間銀行から国債などを買い取る「買いオペレーション」が行われます。この対価として日本銀行から民間銀行へ多額の資金が支払われるため、民間銀行は企業や個人へ低い利子で資金を貸し出しやすくなります。その結果、世の中に出回る通貨量が増え、景気を刺激する効果が期待されます。逆に好況時には、国債を売って資金を回収する「売りオペレーション」が行われます。
問2	答え 3 銀行が企業から受け取る利子は、銀行が預金者に支払う利子よりも多い。	銀行が持続的に経営を行うためには、家計（預金者）への支払いコストを上回る収益を、資金の貸出先（企業など）から得る必要があります。そのため、貸し出しの利子を高く、預金の利子を低く設定する仕組みになっています。この利子の差があることで、銀行は人件費や店舗の維持費を賄い、利益を出すことができます。
問3	答え 1 企業が銀行に支払う利子の総額が、銀行が家計に支払う利子の総額を上回っていること。	家計から銀行へ預けられたお金は、銀行を通じて企業への貸し出しに回されます。銀行がこの業務を継続するためには、家計に対して支払う「預金金利」というコストよりも、企業から受け取る「貸出金利」という収益が大きくならなければなりません。この仕組みによって生まれる「利ざや」が、銀行の店舗運営費や従業員の給与、そして銀行自体の利益に充てられることとなります。もし預金金利の方が高くなれば、銀行は赤字となり、金融仲介の機能を維持できなくなります。
問4	答え 3 直接金融	企業が資金を調達する際、銀行に預けられた預金を借り入れるのではなく、株式や社債を発行して投資家から直接資金を得る仕組みを指します。この場合、資金の出し手である家計などは、証券市場を通じて企業の成長性などを判断し、自らの責任で投資を行うこととなります。
問5	答え 4 デフレ・スパイラル	物価が下がり続けると、企業の売り上げが減少して経営が悪化します。すると従業員の給与が減ったり、失業者が増えたりするため、人々は買い物を控えるようになります。その結果、さらに物価を下げなければ商品が売れなくなるという螺旋（スパイラル）のような負の連鎖が起こることをデフレ・スパイラルと言います。この状態を解消するために、日本銀行は金利を下げるなどの「金融緩和」を行います。
問6	答え 2 市場の通貨量が増えることで、民間の利子率（金利）が低下し、企業の設備投資が活発になる。	日本銀行が国債を買い入れると、民間金融機関が自由に使える資金が増加します。これにより、市場では資金の供給が需要を上回る形となり、利子率（金利）が低下します。金利が下がると、企業は低い利息負担で銀行から資金を借りやすくなるため、工場を建てたり機械を買ったりする設備投資が促進され、景気を回復させる効果が期待されます。
問7	答え 1 民間の金融機関と政府	日本銀行は私たち個人や一般の株式会社が直接口座を開設して預金することはできません。日本銀行は、民間の銀行などの金融機関に対して資金を融通する「銀行の銀行」としての役割と、税金などの国庫金を管理する「政府の銀行」としての役割を担っているため、取引相手は金融機関や国に限定されています。
問8	答え 1 日本銀行が民間金融機関から国債などを買い入れ、代金を支払うことで市場の通貨量を増やす。	不況のとき、日本銀行は市場に流通する通貨（お金）の量を増やすことで経済を活性化させようとします。これを「買いオペレーション」と呼び、日本銀行が民間金融機関から国債を買い取ることで、その代金が市場に供給され、資金の循環を促す仕組みです。対して、好景気で物価が上昇しすぎた際に行われる、国債を売って通貨を回収する操作は「売りオペレーション」と呼ばれます。
問9	答え 2 直接金融	企業などの借り手が、株式や社債を発行して金融機関を介さずに資金の出し手から資金を集める仕組みを直接金融といいます。銀行などを通して資金を借り入れる仕組みは間接金融と呼ばれます。
問10	答え 4 家計に支払う預金の利子率を、企業などへ貸し出す際の利子率よりも低く設定することで、その差額を利益としている。	銀行は「金融仲介機関」として、資金が余っている家計などから「預金」としてお金を集め、資金を必要としている企業や個人に「貸し出し」を行います。このとき、預金者に対して支払う利子の率（預金金利）よりも、貸出先から受け取る利子の率（貸出金利）を高く設定することで、その差額（利ざや）を主な収益源としています。手数料も利益の一部ではありますが、この金利差による収益が銀行経営の根幹を成しています。
問11	答え 3 価値の尺度	貨幣には主に、交換を仲立ちする「交換の媒介」、モノの価値を測る物差しとなる「価値の尺度」、富を蓄える「価値の保存」といった役割があります。自給自足ではない社会において、肉と野菜のように性質が異なる商品を円滑に交換するためには、それらを「価格」という共通の単位で比較できるようにすることが不可欠です。
問12	答え 2 日本銀行が国債を「売り」、民間銀行から通貨を回収することで、市場の通貨量を「減少」させる。	公開市場操作（オープン・マーケット・オペレーション）のうち、好景気時に行われるのが「売りオペレーション」です。日本銀行が主体となって国債を「売る」ことで、対価として民間銀行の資金を回収します。その結果、世の中の通貨（マネーストック）の供給が絞込まれ、物価の安定を図ることができます。選択肢にある「国債を買い、通貨量を増加させる」のは、不景気時に行われる「買いオペレーション」の説明です。
問13	答え 3 発券銀行	日本銀行は、紙幣（日本銀行券）を発行する唯一の機関であり、この役割は「発券銀行」と呼ばれます。また、国の公金を管理する「政府の銀行」、民間金融機関とお金をやり取りする「銀行の銀行」としての役割も持っています。

問1 景気変動に対応する日本銀行の役割についてまとめた資料において、不景気時における「日本銀行」と「国債」の関係について正しく述べているものはどれですか。 (2020年 秋田県公立入試 類似)

1. 日本銀行が民間金融機関に国債を
売ること、通貨量を減らす。
2. 日本銀行が民間金融機関から国債
を買うことで、通貨量を増やす。
3. 日本銀行が民間金融機関に国債を
売ること、通貨量を増やす。
4. 日本銀行が民間金融機関から国債
を買うことで、通貨量を減らす。

問2 資金の貸し手と借り手の間に金融機関が入る「間接金融」の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 宮崎県公立入試 類似)

1. 金融機関が資金の貸付先を決定し、
貸し倒れなどの運用リスクも金融
機関が負う仕組み。
2. 投資家が証券会社を通じて特定の
企業の株式を購入し、直接的に資金
を提供する仕組み。
3. 預金者が自らの判断で貸付先の企
業を選び、その企業から直接利子を
受け取る仕組み。
4. 企業が市場で社債を発行し、不特
定多数の個人から直接資金を借り入
れる仕組み。

問3 一般的な金融の仕組みにおいて、銀行などの金融機関は家計や企業から「預金」として資金を集め、それを必要とする側に「貸し出し」を行います。この際、資金を借りた側が、元金の使用料として金融機関に対して支払う一定割合の金銭を何といいますか。 (2025年 茨城県公立入試 類似)

1. 手数料
2. 利子（利息）
3. 保険料
4. 配当金

問4 私たちは、必要なものをすべて自分で作る「自給自足」の生活ではなく、他者が生産した物やサービスと自分の持つものをやり取りすることで生活しています。このような交換を円滑に行うために貨幣が担っている、商品の価値を共通の物差しとして数値化する役割を何といいますか。 (2023年 兵庫県公立入試 類似)

1. 価値の尺度
2. 価値の保存
3. 支払いの手段
4. 流通の強制

問5 日本銀行が、一般の銀行との間で国債などを売買することによって市場の通貨量を調節し、景気や物価を安定させる政策の名称を答えなさい。 (2023年 大阪府公立入試 類似)

1. 所得再分配
2. 預金準備率操作
3. 公開市場操作
4. 財政投融资

問6 日本の中央銀行である日本銀行が、一般の民間銀行に対して資金を貸し出したり、預金を受け入れたりする役割を何と呼びますか。 (2017年 長崎県公立入試 類似)

1. 国民の銀行
2. 銀行の銀行
3. 政府の銀行
4. 発券銀行

問7 銀行などの金融機関が、家計や企業から預金などの形で集めた資金を、資金を必要とする企業などに貸し出す金融の仕組みを何といいますか。 (2026年 北海道公立入試 類似)

1. 直接金融
2. 間接金融
3. 公開市場操作
4. 財政投融资

問8 保険会社が提供するサービスには、大きく分けて人間の生死や病気に関わるものと、偶然的事故による財産の損失に関わるものの2種類があります。このうち、建物の火災や自動車事故による損害を補償する保険の名称として適切なものを選びなさい。 (2021年 千葉県公立入試 類似)

1. 社会保険
2. 損害保険
3. 生命保険
4. 雇用保険

問9 日本銀行が「発券銀行」として紙幣の独占的な発行権を持ち、世の中に出回る通貨の量を管理している最大の理由として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 沖縄県公立入試 類似)

1. 通貨の流通量を適切に調整し、物
価や貨幣価値の安定を図るため
2. 新しい偽造防止技術を特定の機関
だけで管理し、製造コストを抑える
ため
3. 民間銀行が自由に紙幣を発行する
と、銀行同士の競争が激化しすぎる
ため
4. 政府の財政赤字を補うために、無
制限に紙幣を供給できるようにする
ため

問10 物価が上がり続け、景気が過熱している「インフレーション」の懸念がある場合、日本銀行が行う「公開市場操作」の内容とその目的として、正しい組み合わせはどれですか。 (2021年 千葉県公立入試 類似)

1. 日本銀行が国債を売り、銀行から
資金を回収することで、通貨の量を
減らし物価の安定を図る。
2. 日本銀行が国債の利子率を直接引
き下げ、企業の設備投資を促すこと
で生産量を増やす。
3. 日本銀行が政府に対して国債を発
行させ、その資金で市場の製品を買
い占めて物価を下げる。
4. 日本銀行が国債を買い、銀行へ資
金を供給することで、通貨の量を増
やし物価の安定を図る。

問11 日本銀行、一般の銀行、そして企業の間で資金が循環する仕組みにおいて、日本銀行が「買いオペレーション」を実施したあとの経済への影響として最も適切な説明を選びなさい。 (2025年 神奈川県公立入試 類似)

1. 国債の価値が下落し、銀行から企
業への貸し出しが停止される。
2. 政府が直接企業に資金を供給する
ようになり、銀行の役割が縮小する
。
3. 市場の通貨供給量が増えることで
金利が低下し、企業が資金を借りやす
くなる。
4. 市場から通貨が回収されることで
金利が上昇し、企業の過度な投資が
抑えられる。

問12 不況の際、日本銀行は景気を刺激するために市場に流通する資金の量を調整する「金融政策」を行います。日本銀行が民間の銀行から国債を買い入れることで、市場の資金量を増やす操作を行った場合、その後の経済に与える影響として最も適切な説明を選びなさい。 (2018年 愛知県公立入試 類似)

1. 銀行の貸出金利が上がることで、
個人の預金意欲が高まり、通貨の価
値が安定する。
2. 政府が公共事業を増やすことで、
失業者が減少し、家計の消費が大幅
に拡大する。
3. 銀行の貸出金利が下がることで、
企業が資金を借りやすくなり、生産
活動が活発になる。
4. 市場の資金量が不足することで物
価が下落し、消費者の購買意欲が刺
激される。

問13 日本銀行は、一般の銀行とは異なる特殊な役割を担っています。日本銀行が「銀行の銀行」と呼ばれる理由として、業務の実態を正しく述べたものはどれですか。 (2019年 茨城県公立入試 類似)

1. 銀行の窓口で行われる振り込みや
引き出しの業務を、すべて日本銀行
が遠隔で代行しているから。
2. 民間金融機関との間で当座預金の
やり取りを行い、金融システム全体
の資金の過不足を調整しているから
。
3. すべての国民が日本銀行に口座を
持ち、民間銀行を介さずに預金ので
きる仕組みを提供しているから。
4. 全国の民間銀行の経営権を政府に
代わって所有し、銀行の支店網を管
理しているから。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 日本銀行が民間金融機関から国債を買うことで、通貨量を増やす。	景気が停滞しているときは、世の中にお金が十分に循環するように、日本銀行が「買い手」となって市場に資金を供給します。民間金融機関から国債を買い入れるアクションは、銀行が保有する資産を現金化させることを意味し、これによって銀行は企業などへの融資を増やせるようになります。逆に景気が過熱しているときは、国債を売って通貨を回収する「売りオペレーション」が行われます。
問2	答え 1 金融機関が資金の貸付先を決定し、貸し倒れなどの運用リスクも金融機関が負う仕組み。	間接金融では、預金者は資金を銀行に預けるだけで、どの企業に貸し出すかという判断には関与しません。そのため、銀行が自らの責任で貸付先を審査し、もし貸し出した資金が回収できなくなった場合でも、原則として銀行がそのリスクを負うことになります。これに対し、投資家が自己責任で投資先を選ぶ形態は直接金融と呼ばれます。
問3	答え 2 利子（利息）	銀行などの金融機関は、家計や企業から余っている資金を預金として集め、それを資金が不足している企業や家計に貸し出すことで、社会全体の資金を循環させる「金融」の役割を担っています。資金を借りた側は、元金に一定の割合を乗じた「利子（利息）」を上乗せして返済する必要があります。金融機関は、貸し出しの際の利子と預金者に支払う利子の差額などを主な収益として運営されています。
問4	答え 1 価値の尺度	貨幣には主に、交換を仲立ちする「交換の媒介」、モノの価値を測る物差しとなる「価値の尺度」、富を蓄える「価値の保存」といった役割があります。自給自足ではない社会において、肉と野菜のように性質が異なる商品を円滑に交換するためには、それらを「価格」という共通の単位で比較できるようにすることが不可欠です。
問5	答え 3 公開市場操作	日本銀行が金融政策の主要な手段として用いるのが公開市場操作（オープン・マーケット・オペレーション）です。市場の資金量を直接調整する手法であり、景気が過熱しているときには国債を売る「売りオペレーション」、景気が停滞しているときには国債を買う「買いオペレーション」を行い、経済のバランスを整えます。
問6	答え 2 銀行の銀行	日本銀行は、私たち個人や一般の企業と直接取引を行うことはありません。その代わりに、三菱UFJ銀行や地方銀行といった「一般の銀行」を相手に資金の貸し借りや預金の管理を行うため、このような名称で呼ばれます。これにより、金融機関同士の資金のやり取りを円滑にし、経済全体の安定を支えています。
問7	答え 2 間接金融	家計（貸し手）が銀行などの金融機関に預金し、その金融機関が自らの判断で企業（借り手）に融資を行う形態を指します。貸し手と借り手の間に金融機関が介在するため、資金の流れが「間接的」であることからこの名称で呼ばれます。
問8	答え 2 損害保険	保険会社が扱う民間保険は、主に「生命保険」と「損害保険」に分かれます。生命保険は人の生存や死亡に対して保険金が支払われるのに対し、損害保険は火災、地震、交通事故など、偶然的事故によって生じた実際の損害を埋め合わせることを目的としています。なお、国や地方公共団体が運営し、加入が義務付けられているものは社会保険と呼ばれます。
問9	答え 1 通貨の流通量を適切に調整し、物価や貨幣価値の安定を図るため	もし複数の機関が自由に紙幣を発行できると、市場に通貨が溢れて貨幣価値が下がるなど、経済が混乱する恐れがあります。日本銀行が独占的に発行・管理を行うことで、景気の状態に合わせて通貨の量を増やしたり減らしたりし、物価の安定を保つ仕組みになっています。
問10	答え 1 日本銀行が国債を売り、銀行から資金を回収することで、通貨の量を減らし物価の安定を図る。	景気が過熱し物価が上昇しすぎるのを防ぐため、日本銀行は所有する国債を一般の銀行に売る「売りオペレーション」を実施します。銀行は国債の代金を支払うため、手元の現金が減少します。これにより世の中に出回る通貨の量が減少し、借入れの利息（金利）が上昇するため、過度な投資や消費が抑えられ、物価の安定につながります。利子率（金利）は日本銀行が直接決めるのではなく、通貨の量の増減を通じて市場で変動する仕組みです。
問11	答え 3 市場の通貨供給量が増えることで金利が低下し、企業が資金を借りやすくなる。	日本銀行が一般の銀行から国債を受け取り、代わりに代金を支払うことで、銀行側の資金に余裕が生まれます。資金が豊富になれば利下げ（金利の低下）が起こり、企業は低い利息で設備投資などのための資金を借りやすくなります。このように、通貨供給量の増加から利下げへとつながることで、経済活動を活発化させることが狙いです。
問12	答え 3 銀行の貸出金利が下がることで、企業が資金を借りやすくなり、生産活動が活発になる。	不況時には、日本銀行が民間銀行から国債などを買い入れる「買いオペレーション」が行われます。これにより、民間銀行が保有する資金量が増え、銀行が企業や個人に貸し出す際の金利が低下します。金利が下がると、企業は設備投資などのための資金を借りやすくなるため、社会全体の生産活動や消費が活発になり、景気の回復が期待されます。
問13	答え 2 民間金融機関との間で当座預金のやり取りを行い、金融システム全体の資金の過不足を調整しているから。	日本銀行は中央銀行として、民間の銀行などが預け入れている当座預金を通じて、金融機関同士の資金の決済を仲介したり、不足している銀行へ資金を貸し出したりしています。このように「銀行にとっての銀行」として機能することで、経済全体の血液であるお金の流れを安定させています。民間銀行の経営権を所有したり、個人の預金口座を管理したりすることはありません。

- 問1 日本銀行の業務に関する説明として、民間の銀行（普通銀行）の業務とは異なる、中央銀行としての正しい役割はどれですか。（2020年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
| 1. 一般の銀行を対象として、資金の貸し出しや預金の受け入れを行う。 | 2. 企業の将来性を審査し、新しい事業を始めるための資金を直接融資する。 | 3. 企業間の不当な価格操作が行われないよう、市場を監視する。 | 4. 個人の預金者に対して、預けられた金額に応じた利息を支払う。 |
|------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
- 問2 日本の中央銀行である日本銀行が、「政府の銀行」として行っている業務として最も適切なものはどれですか。（2018年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------|------------------------------------|----------------------------|--------------------------------|
| 1. 一般の家計から預金を預かり、企業への貸し出し業務を行う。 | 2. 地方公共団体が実施する公共事業の計画を策定し、予算を配分する。 | 3. 国債の発行や、税金など政府の資金の管理を行う。 | 4. 日本銀行券を発行し、世の中に出回る通貨の量を調節する。 |
|---------------------------------|------------------------------------|----------------------------|--------------------------------|
- 問3 日本銀行がおこなっている、国が集めた税金をあずかったり、国が必要とする支払いを代わりにおこなったりする役割を何といいますか。（2018年 兵庫県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. 民間の銀行 | 2. 商店の銀行 | 3. 政府の銀行 | 4. 海外の銀行 |
|----------|----------|----------|----------|
- 問4 景気が過熱し、インフレーションの恐れがある場合に政府が行う財政政策として、経済を安定させるための適切な組み合わせはどれですか。（2026年 新潟県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 公共事業を減らし、同時に減税を行うことで、企業の投資意欲を高める | 2. 公共事業を増やしたり、減税を行ったりして、社会全体の需要を刺激する | 3. 公共事業を減らしたり、増税を行ったりして、社会全体の需要を抑制する | 4. 公共事業を増やし、同時に増税を行うことで、財政赤字の解消を優先する |
|-------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
- 問5 日本では、2024年度から北里柴三郎の肖像が描かれた新しい千円札などの紙幣が導入されました。これらの「日本銀行券」を国内で唯一発行することができる、日本銀行が持つ役割を何といいますか。（2021年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|---------|---------|----------|
| 1. 銀行の銀行 | 2. 普通銀行 | 3. 発券銀行 | 4. 政府の銀行 |
|----------|---------|---------|----------|
- 問6 日本銀行が景気を向上させるために実施する「買いオペレーション」という仕組みと、その結果として期待される物価の動きの組み合わせとして正しいものはどれですか。（2017年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 日本銀行が市中銀行へ国債などを売り、代金を受け取ることで通貨量を増やし、物価を上昇させる。 | 2. 日本銀行が市中銀行から国債などを買い取り、代金を支払うことで通貨量を減らし、物価を安定させる。 | 3. 日本銀行が市中銀行から国債などを買い取り、代金を支払うことで通貨量を増やし、物価を上昇させる。 | 4. 日本銀行が市中銀行へ国債などを売り、代金を受け取ることで通貨量を減らし、デフレーションを維持する。 |
|--|--|--|--|
- 問7 景気の過熱や物価の上昇を抑えるために日本銀行が行う「公開市場操作」において、保有する国債などを一般の金融機関に売却し、市場に流通する通貨量を減少させる操作を何といいますか。（2026年 栃木県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------|------------|-----------|--------------|
| 1. 売りオペレーション | 2. 預金準備率操作 | 3. 公定歩合操作 | 4. 買いオペレーション |
|--------------|------------|-----------|--------------|
- 問8 家計、金融機関、企業の三者間における資金の流れを説明した以下の文のうち、間接金融の仕組みを正しく述べているものはどれですか。（2026年 富山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 家計が金融機関に預けた資金を、金融機関が仲介役となって企業へ貸し出す仕組み。 | 2. 家計が企業の株式や社債を直接購入し、企業がその資金を事業に活用する仕組み。 | 3. 政府が家計から税金を徴収し、公共事業などを通じて企業に資金を供給する仕組み。 | 4. 日本銀行が市中銀行との間で国債を売買し、世の中に出回る通貨の量を調整する仕組み。 |
|---|--|---|---|
- 問9 日本の家計や経済において、外国為替相場が「円安」に振れた際に生じる社会的な影響として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 福島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|---------------------------------------|
| 1. 日本を訪れる外国人観光客にとって日本での滞在費が割高に感じられ、観光需要が減少する | 2. 円の価値が高まるため、海外投資を行っている投資家が日本円に資産を戻しやすくなる | 3. 輸入に頼っている原油や小麦などの輸入価格が上昇し、国内の物価を押し上げる要因となる | 4. 海外製品が安く手に入るようになるため、国内の消費者の購買意欲が高まる |
|--|--|--|---------------------------------------|
- 問10 日本銀行を中心とした資金の流れについて説明した次の文のうち、中央銀行の仕組みとして正しいものはどれですか。（2023年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 日本銀行は一般の銀行との間で預金の受け入れを行うが、政府との間では資金のやり取りは行わない。 | 2. 日本銀行は政府の資金を取り扱う一方で、一般の企業に対しては直接、設備投資のための貸し出しを行う。 | 3. 日本銀行は政府の資金である国庫金を取り扱うほか、一般の銀行との間で資金の貸し出しや預金の受け入れを行う。 | 4. 日本銀行は家計（個人）からの預金を直接受け入れ、その資金を一般の銀行へ貸し出す役割を持つ。 |
|---|---|---|--|
- 問11 銀行の役割を示したモデルにおいて、左側に「預金を行い利子を受け取る家計」、中央に「銀行」、右側に「貸し出しを受け利子を支払う企業」が位置していると想定します。この仕組みにおいて、銀行が安定して利潤を生み出し続けるために必要な条件として、正しいものはどれですか。（2022年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|------------------------------------|
| 1. 企業から受け取る貸し出し金利が、家計へ支払う預金金利を上回っていること。 | 2. 家計へ支払う預金金利が、企業から受け取る貸し出し金利を上回っていること。 | 3. 預金金利と貸し出し金利が常に等しく、家計と企業の間で利子の移動がないこと。 | 4. 銀行が仲介をせず、家計が企業に対して直接資金を貸し付けること。 |
|---|---|--|------------------------------------|
- 問12 日本銀行が、景気の過熱や物価の急激な上昇を抑えるために行う「公開市場操作（オープン・マーケット・オペレーション）」の仕組みとして、最も適切な説明はどれですか。（2026年 兵庫県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 日本銀行が政府から直接国債を買い取り、公共事業の予算を増やすことで、市場の通貨の量を調整する。 | 2. 日本銀行が保有する国債を市中銀行に売り、市場に流通する通貨の量を減らすことで、景気を抑制する。 | 3. 日本銀行が市中銀行に対して預金準備率を引き下げよう命じ、企業への貸し出しを容易にさせる。 | 4. 日本銀行が市中銀行から国債を買い取り、市場に多くの代金を支払うことで、通貨の量を増やし景気を刺激する。 |
|--|--|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 一般の銀行を対象として、資金の貸し出しや預金の受け入れを行う。	日本銀行は、私たち個人や一般の企業が直接口座を作って取引をすることはできません。日本銀行は民間の金融機関との間で資金をやり取りするため、「銀行の銀行」と呼ばれます。個人の預金に対する利息の支払いや一般企業への融資は、民間の普通銀行が行う業務です。また、価格操作の監視は公正取引委員会が担当しています。
問2	答え 3 国債の発行や、税金など政府の資金の管理を行う。	日本銀行は、国が発行する国債の事務や、税金をはじめとする政府の資金（公金）の出納・管理を担当しており、この役割を「政府の銀行」と呼びます。これに対し、日本銀行券の発行は「発券銀行」としての役割であり、一般の家計からの預金受け入れは、日本銀行では行われない業務である点に注意が必要です。
問3	答え 3 政府の銀行	日本銀行は国のお金を管理する特別な役割を担っており、税金などの国のお金を大切に保管したり、橋や道路を作るための費用を国にかわって支払ったりしています。この働きから「政府の銀行」と呼ばれています。
問4	答え 3 公共事業を減らしたり、増税を行ったりして、社会全体の需要を抑制する	政府は景気を調整するために、支出（公共事業）と収入（税金）を操作します。景気が良すぎる（過熱している）ときは、道路建設などの公共事業を削減して政府支出を抑えるとともに、増税によって国民や企業が自由に使えるお金を減らします。これらの措置によって、社会全体の買い物の勢い（総需要）を抑え、物価の安定を図ります。
問5	答え 3 発券銀行	日本銀行は、日本で唯一の「日本銀行券」を発行する権限を持つ中央銀行です。この役割を「発券銀行」と呼び、私たちが普段使用している一万円札、五千円札、千円札などの紙幣を供給しています。一方、硬貨（貨幣）については日本銀行ではなく政府が発行しています。
問6	答え 3 日本銀行が市中銀行から国債などを買い取り、代金を支払うことで通貨量を増やし、物価を上昇させる。	買いオペレーションは、日本銀行が民間の金融機関（市中銀行）から国債などを買い入れる操作を指します。これにより、代金として日本銀行から市中銀行へ現金が支払われるため、市場に出回る通貨の量が増加します。お金の量が増えて借りやすくなると、モノやサービスへの需要が高まり、下落傾向にあった物価を上昇に転じさせることが期待されます。
問7	答え 1 売りオペレーション	景気が良すぎて物価が上がりがすぎるのを防ぐため、日本銀行は市場の通貨量を減らそうとします。日本銀行が国債を金融機関に売ると、その代金が民間から日本銀行に支払われるため、世の中に出回る通貨の量が減少します。この一連の流れを公開市場操作の「売りオペレーション」と呼びます。
問8	答え 1 家計が金融機関に預けた資金を、金融機関が仲介役となって企業へ貸し出す仕組み。	間接金融では、家計から預金として集められた資金が、金融機関というフィルターを通して企業へと流れます。これに対し、家計が直接株式などを買う仕組みは直接金融と呼ばれます。金融機関が間に入ることで、個々の家計は直接的な投資リスクを避けることができます。
問9	答え 3 輸入に頼っている原油や小麦などの輸入価格が上昇し、国内の物価を押し上げる要因となる	円安になると、同じ1ドルの商品を輸入する際により多くの円を支払う必要が生じます。日本はエネルギー資源や食料の原材料を海外に大きく依存しているため、円安が進行すると輸入コストが増大し、電気料金や食料品などの身近な物価の上昇（インフレ）を招く原因となります。
問10	答え 3 日本銀行は政府の資金である国庫金を取り扱うほか、一般の銀行との間で資金の貸し出しや預金の受け入れを行う。	日本銀行の取引相手は、大きく分けて「政府」と「金融機関（一般の銀行など）」の2つに限定されています。政府に対しては「政府の銀行」として、一般の銀行に対しては「銀行の銀行」として機能します。企業や家計（個人）が直接、日本銀行に預金をしたり融資を受けたりすることはありません。
問11	答え 1 企業から受け取る貸し出し金利が、家計へ支払う預金金利を上回っていること。	銀行は「間接金融」の代表的な機関であり、預金者から集めた資金を自らの責任で貸し出します。銀行の経営を成り立たせるためには、貸し出し先から回収する利子の総額が、預金者に払い戻す利子の総額よりも多くなければなりません。したがって、貸し出し金利を預金金利よりも高く設定することが、銀行のビジネスモデルの根幹となります。
問12	答え 2 日本銀行が保有する国債を市中銀行に売り、市場に流通する通貨の量を減らすことで、景気を抑制する。	景気が過熱している（好況）ときは、市場に流通する通貨（お金）の量を減らすことで、経済活動を落ち着かせる必要があります。日本銀行が持っている国債を民間の銀行（市中銀行）に売ると、その代金として市中銀行から日本銀行へお金が流れます。これにより、世の中に出回る通貨の総量が減り、企業や個人への貸し出しが抑制されるため、景気を抑える効果があります。これを「売りオペレーション」と呼びます。

- 問1 日本銀行が公開市場操作において、民間金融機関から国債を買い入れる政策を実施した場合、その後の経済への影響として期待される因果関係の説明として正しいものはどれですか。 (2024年 香川県公立入試 類似)

1. 市場の通貨量が増えることで、民間の利子率（金利）が低下し、企業の設備投資が活発になる。

2. 市場の通貨量が減ることで、通貨の価値が上がり、輸入品の価格が下がることで消費が拡大する。

3. 市場の通貨量が減ることで、物価の上昇が抑えられ、企業の過剰な在庫投資が抑制される。

4. 市場の通貨量が増えることで、民間の利子率（金利）が上昇し、国民の預金意欲が高まる。
- 問2 景気の過熱や物価の上昇を抑えるために日本銀行が行う「公開市場操作」において、保有する国債などを一般の金融機関に売却し、市場に流通する通貨量を減少させる操作を何といいますか。 (2026年 栃木県公立入試 類似)

1. 預金準備率操作

2. 公定歩合操作

3. 売りオペレーション

4. 買いオペレーション
- 問3 日本経済において、物価が持続的に下落するデフレーションが進行している時期の経済状況や政策について述べたものとして、正しい記述はどれですか。 (2017年 茨城県公立入試 類似)

1. 物価の下落により貨幣の価値が相対的に上がるが、企業の収益悪化や賃金の低下を招き、さらなる景気の冷え込みにつながりやすい。

2. 通貨の価値が下がり続ける現象であるため、日本銀行は公開市場操作を通じて市場の通貨量を増やすことで、物価の下落を食い止める。

3. 需要が供給を大幅に上回っているために物価が下落しており、日本銀行は通貨量を減らすために「売りオペレーション」を実施する。

4. 物価の下落は消費者の購買力を高めて景気を浮揚させるため、政府は増税を行って市場の通貨量を回収し、経済の安定を図る。
- 問4 日本銀行が景気回復を目指して実施する「買いオペレーション」において、国債の売上が市場の金利や企業の活動に与える影響として正しいものはどれですか。 (2018年 大分県公立入試 類似)

1. 日本銀行が国債を売り出すことで、市場の通貨量が不足し、金利が上がって景気の過熱が抑制される。

2. 日本銀行が国債を売り出すことで、銀行の持つ資金が増え、企業の倒産を防ぐ効果がある。

3. 日本銀行が国債を買い取ることで、市場の通貨量が減り、物価の上昇を抑える効果がある。

4. 日本銀行が国債を買い取ることで、銀行の貸し出し資金に余裕ができ、金利が下がって企業の設備投資が促される。
- 問5 日本銀行が「売りオペレーション」を行った際に、市場の金利や経済活動に与える影響として正しい組み合わせはどれですか。 (2022年 静岡県公立入試 類似)

1. 市場の通貨量が減少し、金利が低下することで、物価の下落がさらに加速する。

2. 市場の通貨量が増加し、金利が低下することで、企業や家計の資金借入が活発になる。

3. 市場の通貨量が減少し、金利が上昇することで、企業や家計の資金借入が抑制される。

4. 市場の通貨量が増加し、金利が上昇することで、輸出企業の国際競争力が高まる。
- 問6 資金の供給手である家計と、資金の需要手である企業の間で銀行が果たす役割に関連して、銀行が安定的な経営を行うための利子の仕組みについて述べた文として、背景や理由を含めて説明したものを選びなさい。 (2023年 岐阜県公立入試 類似)

1. 銀行は貸し倒れのリスクを負うため、貸出先から受け取る利子を預金者に支払う利子よりも多く受け取る必要がある。

2. 預金者が銀行に資金を預ける際の利子を貸出利子より高くすることで、社会全体の貯蓄額を増やす仕組みがとられている。

3. 中央銀行がすべての利子率を決定しているため、民間銀行は利子の差額ではなく国からの補助金によって経営されている。

4. 銀行の収益は株式投資の配当のみで構成されるため、預金利子と貸出利子を同額に設定して家計を支援している。
- 問7 日本銀行が「銀行の銀行」としての役割を果たす際、一般の銀行（民間金融機関）との間で行われる具体的な業務の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 埼玉県公立入試 類似)

1. 民間金融機関が保有する資金が不足した際などに、その機関に対して資金の貸し出しを行う。

2. 民間金融機関が倒産しないよう、一般の個人や企業に対して日本銀行が直接融資を行う。

3. 民間金融機関に代わって、所得税などの税金の収納や、年金の支払いといった国の事務を行う。

4. 民間金融機関からの依頼を受けて、新しい一万円札や五千円札などの日本銀行券を発行する。
- 問8 資金の貸し借りが行われる金融市場において、元金に対する利子の割合を示す言葉として正しいものはどれですか。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)

1. 為替相場

2. 金利

3. 物価上昇率

4. 自己資本比率
- 問9 個人が資金を運用する手段のうち、銀行などの金融機関が資金の貸し手と借り手の間に入って資金を融通する「間接金融」に該当するものはどれですか。 (2026年 山梨県公立入試 類似)

1. 銀行への預金

2. 企業の株式の購入

3. ふるさと納税による寄付

4. 地方自治体が発行する地方債の購入
- 問10 「お金に余裕がある人」が銀行へ預金し、銀行が「お金を必要としている企業」へ貸し付けを行う経済活動において、利子の関係について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。 (2022年 高知県公立入試 類似)

1. 景気を刺激するために、銀行は預金利子を貸出利子よりも高く設定するのが一般的である。

2. 借り手が銀行に支払う貸出利子は、銀行が預金者に支払う預金利子よりも常に低く抑えられている。

3. 預金利子と貸出利子は法律によって同額に定められており、銀行は手数料のみで利益を得る。

4. 銀行の利益を確保するため、貸出利子は預金利子よりも高く設定される。
- 問11 家計などの余剰資金を銀行が預かり、それを企業などの資金不足の主体に貸し出す「間接金融」の仕組みにおいて、銀行が預金利子率を貸し出し利子率よりも低く設定している理由として、最もふさわしい背景はどれですか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)

1. 預金者が銀行に資金を預けること自体が投資であり、元本保証の対価として利子を低く抑える契約が一般的だから。

2. 不景気の際に、企業が資金を借りやすくするために、預金者から徴収した手数料を利子補填に回しているため。

3. 日本銀行による金融政策により、すべての銀行の預金利子率を貸し出し利子率より下げることが法律で強制されているため。

4. 預金者への利子支払いを抑え、貸し出しによる利息収入との差額を銀行の運営費用や利益に充てるため。
- 問12 家計から預かった預金を、銀行などの金融機関が仲介役となって企業に貸し出すことで、企業が事業活動に必要な資金を調達する仕組みを何といいますか。 (2024年 福岡県公立入試 類似)

1. 信用創造

2. 間接金融

3. 直接金融

4. 公開市場操作
- 問13 一般的な銀行（普通銀行）の収益の仕組みについて述べたものとして、最も適切な説明はどれですか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)

1. 預金利子率を貸し出し利子率よりも低く設定し、その差額を「利ざや」として収益にする。

2. 中央銀行からの補助金によって、預金者に支払う利子と企業から受け取る利子の不足分を補う。

3. 貸し出し利子率を預金利子率よりも低く設定し、その差額を「利ざや」として収益にする。

4. 預金者から手数料を受け取り、それを全額、企業への貸し出し資金に充てることで収益を上げる。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 市場の通貨量が増えることで、民間の利子率（金利）が低下し、企業の設備投資が活発になる。	日本銀行が国債を買い入れると、民間金融機関が自由に使える資金が増加します。これにより、市場では資金の供給が需要を上回る形となり、利子率（金利）が低下します。金利が下がると、企業は低い利息負担で銀行から資金を借りやすくなるため、工場を建てたり機械を買ったりする設備投資が促進され、景気を回復させる効果が期待されます。
問2	答え 3 売りオペレーション	景気が良すぎて物価が上がりすぎるのを防ぐため、日本銀行は市場の通貨量を減らそうとします。日本銀行が国債を金融機関に売ると、その代金が民間から日本銀行に支払われるため、世の中に出回る通貨の量が減少します。この一連の流れを公開市場操作の「売りオペレーション」と呼びます。
問3	答え 1 物価の下落により貨幣の価値が相対的に上がるが、企業の収益悪化や賃金の低下を招き、さらなる景気の冷え込みにつながりやすい。	デフレーションの状況下では、物価が下がるため貨幣の価値は相対的に高まりますが、一方で企業の売上減少や在庫の増加を招きます。その結果、労働者の賃金が下がったり失業者が増えたりして消費がさらに落ち込む「デフレスパイラル」という悪循環に陥るリスクがあります。この不況を打開するため、日本銀行は公開市場操作によって市場に資金を供給し、通貨量を増やす金融緩和政策をとるのが一般的です。
問4	答え 4 日本銀行が国債を買い取ることで、銀行の貸し出し資金に余裕ができ、金利が下がって企業の設備投資が促される。	日本銀行が国債を買うことで市場の通貨量が増加すると、お金の供給が需要を上回る形となり、一般的に金利は低下します。金利が下がると、企業は事業を拡大するための資金を借りやすくなり、設備投資や雇用が生まれます。このように、通貨量の調整を通じて民間経済の意思決定に働きかけるのが公開市場操作の狙いです。
問5	答え 3 市場の通貨量が減少し、金利が上昇することで、企業や家計の資金借入が抑制される。	売りオペレーションによって民間銀行の資金が日本銀行に吸収されると、銀行が貸し出しに回せるお金が少なくなります。希少となった資金の「価格」にあたる金利は上昇し、高い金利を嫌って企業や家計はお金を借りにくくなります。これにより、消費や投資といった経済活動が落ち着き、物価の上昇を抑える方向に働きます。
問6	答え 1 銀行は貸し倒れのリスクを負うため、貸出先から受け取る利子を預金者に支払う利子よりも多く受け取る必要がある。	銀行は預金者に対して預金を払い戻す義務を負う一方で、企業への貸し出しには返済が滞るリスク（貸し倒れリスク）が伴います。そのため、貸出先から受け取る利子を高く設定することで、リスクへの備えや業務運営に必要なコストをまかなっています。このように、預金利子と貸出利子の差額を収益の柱とする仕組みによって、銀行の金融仲介機能が維持されています。
問7	答え 1 民間金融機関が保有する資金が不足した際などに、その機関に対して資金の貸し出しを行う。	日本銀行は、一般の銀行が一時的な資金不足に陥った際に「資金の貸し出し」を行ったり、各銀行が余剰資金を預けるための「預金の受け入れ」口座を提供したりします。これにより、民間金融機関同士のお金のやり取り（決済）がスムーズに進むよう調整しています。国の事務を行うのは「政府の銀行」、紙幣を発行するのは「発券銀行」としての役割であり、混同しないよう注意が必要です。
問8	答え 2 金利	借りたお金（元金）に対して、どの程度の割合で利子を支払うかを数値で表したものが金利です。一般的に「利回り」や「利率」とも呼ばれ、景気の状態や日本銀行の政策などによって変動します。金利が高くなると借り手の負担が増え、低くなると借りやすくなるため、経済活動に大きな影響を与えます。
問9	答え 1 銀行への預金	銀行への預金は、預けられたお金を銀行が自身の判断で企業などに貸し出すため、貸し手と借り手の間に金融機関が介在する間接金融の代表例です。一方、株式や債券の購入は、資金の出し手が直接、発行元（企業や自治体）に資金を供給するため、直接金融に分類されます。
問10	答え 4 銀行の利益を確保するため、貸出利子は預金利子よりも高く設定される。	銀行の主な利益の源泉は、預金と貸し出しの利子率の差にあります。資金の供給者（預金者）に支払う利子よりも、資金の需要者（借り手）から徴収する利子を高くすることで、銀行は組織を維持・運営するための利益を得ることができます。もし預金利子の方が高い場合、銀行は逆ざやと呼ばれる赤字状態に陥ってしまいます。
問11	答え 4 預金者への利子支払いを抑え、貸し出しによる利息収入との差額を銀行の運営費用や利益に充てるため。	銀行は金融仲介機関として、多くの預金者から小口の資金を集め、それをまとめて企業などに大口で貸し出します。銀行が健全に経営を続け、店舗の維持や従業員の給与、システムの管理を行うためには、収益を上げる必要があります。貸し出した際の利息収入が、預金者に支払う利息を上回るように設定することで、その差額が銀行の経費や利益を支える原資となります。
問12	答え 2 間接金融	家計（貸し手）と企業（借り手）の間に銀行などの金融機関が介在し、預金という形をとって間接的に資金が流れるため、このように呼ばれます。貸し手である家計は、資金がどの企業に貸し出されるかを直接決定しない点が特徴です。
問13	答え 1 預金利子率を貸し出し利子率よりも低く設定し、その差額を「利ざや」として収益にする。	銀行は預金者から集めた資金を、資金を必要とする企業や個人に貸し出すことで仲介役を果たします。この際、企業などから受け取る「貸し出し利子率」を、預金者に支払う「預金利子率」よりも高く設定することで、その差額である「利ざや」を主な利益の源泉としています。これが銀行の経営を支える基本的な仕組みです。

問1	私たちは、必要なものをすべて自分で作る「自給自足」の生活ではなく、他者が生産した物やサービスと自分の持つものをやり取りすることで生活しています。このような交換を円滑に行うために貨幣が担っている、商品の価値を共通の物差しとして数値化する役割を何といいますか。 (2023年 兵庫県公立入試 類似) 1. 支払いの手段 2. 価値の尺度 3. 価値の保存 4. 流通の強制			
問2	一般的な銀行の仕組みにおいて、家計から預かった資金（預金）を企業などに貸し出す際、銀行はどのようにして自らの利益を得ているか、最も適切な説明を選びなさい。 (2018年 徳島県公立入試 類似) 1. 利子による収益は一切得ず、銀行の窓口やATMを利用する際の手数料のみをすべての利益とする。 2. 預金者に支払う利子と、企業などに貸し付ける際の利子を同等に設定し、政府からの補助金を利益とする。 3. 預金者に支払う利子を、企業などに貸し付ける際の利子よりも高く設定し、預金残高を増やすことで利益とする。 4. 預金者に支払う利子よりも、企業などに貸し付ける際の利子を高く設定し、その差額を利益とする。			
問3	景気の過熱や物価の上昇を抑えるために日本銀行が行う「公開市場操作」において、保有する国債などを一般の金融機関に売却し、市場に流通する通貨量を減少させる操作を何といいますか。 (2026年 栃木県公立入試 類似) 1. 預金準備率操作 2. 売りオペレーション 3. 公定歩合操作 4. 買いオペレーション			
問4	日本銀行がインフレーションを抑制するために金利を上げる「金融引き締め」を行った場合、その影響として予測される社会の動きについて述べたものとして正しいものはどれですか。 (2024年 北海道公立入試 類似) 1. 銀行の預金金利が下がるため、人々は貯蓄をせずに消費を増やすようになり、景気がさらに良くなる。 2. 住宅ローンの金利が上昇するため、住宅を購入しようとする個人が減り、不動産市場の過熱が収まる。 3. 円の価値が相対的に低くなるため、輸出企業の国際競争力が高まり、日本からの輸出額が大幅に増加する。 4. 企業の利息負担が軽くなるため、新しい工場や機械を導入する設備投資が活発になり、雇用が増加する。			
問5	日本の中央銀行である日本銀行が、一般の銀行に対して資金を貸し付けたり預金を受け入れたりする役割を指す言葉として、最も適切なものを選びなさい。 (2020年 岡山県公立入試 類似) 1. 市中銀行 2. 政府の銀行 3. 発券銀行 4. 銀行の銀行			
問6	銀行などの金融機関が、家計などの預金者から集めた資金を、自らの責任で企業などの借り手に貸し出す金融の仕組みを何といいますか。 (2026年 鳥取県公立入試 類似) 1. 直接金融 2. 公開市場操作 3. 間接金融 4. 証券取引			
問7	景気が過熱して物価が上がり続けるインフレーションを抑えるため、日本銀行が行う金融政策について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 栃木県公立入試 類似) 1. 日本銀行が民間金融機関から国債を買い取り、市場に出回る通貨の量を増やす。 2. 日本政府が所得税や法人税を増税し、公共投資を縮小させることで景気を抑制する。 3. 日本銀行が政策金利を引き下げ、企業が資金を借りやすくすることで生産を促す。 4. 日本銀行が民間金融機関に国債を売却し、市場に出回る通貨の量を減らす。			
問8	日本の金融システムにおいて、家計が銀行などの金融機関へ預け入れた預金を原資として、その金融機関が自らの判断で企業などに対して資金の貸し出しを行う仕組みを何といいますか。 (2026年 富山県公立入試 類似) 1. 財政政策 2. 直接金融 3. 公開市場操作 4. 間接金融			
問9	日本銀行が「発券銀行」として日本銀行券（紙幣）の供給量を調節し、金融政策を行うことで達成しようとしている、経済上の最も重要な目的は何ですか。 (2025年 和歌山県公立入試 類似) 1. 全ての国民に対して均等に現金を配分し、所得格差を是正すること 2. 政府の財政赤字を埋めるために、無制限に貨幣を増刷すること 3. 外国との貿易を制限し、国内市場の独占を維持すること 4. 物価を安定させ、国民経済を健全に発展させること			
問10	好景気（好況）の局面などで、社会全体の需要が供給を上回り、モノやサービスの価格が全体的に継続して上昇する現象を何といいますか。 (2020年 沖縄県公立入試 類似) 1. デフレーション 2. スタグフレーション 3. 円高 4. インフレーション			
問11	日本銀行は、わが国で唯一の「中央銀行」として、国内で流通する紙幣（日本銀行券）を発行する権限を持っています。このような役割を指す名称として適切なものはどれですか。 (2017年 岩手県公立入試 類似) 1. 発券銀行 2. 政府の銀行 3. 市中銀行 4. 銀行の銀行			
問12	家計などの預金者から集めた資金を、銀行などの金融機関が自らの判断で企業などに貸し出すことで、企業が事業に必要な資金を調達する仕組みを何といいますか。 (2018年 鹿児島県公立入試 類似) 1. 株式公開 2. クラウドファンディング 3. 直接金融 4. 間接金融			
問13	日本銀行が「銀行の銀行」と呼ばれている理由として、その具体的な業務の説明として適切なものを選んでください。 (2023年 奈良県公立入試 類似) 1. 民間銀行が経営難に陥った際、その銀行の株主となって経営を完全に代行するため 2. 市中の銀行などの金融機関に対して、資金の貸し出しや預金の受け入れを行うため 3. 国内のすべての銀行の支店配置や営業時間を決定する権限を持っているため 4. 銀行の窓口で市民が預け入れた預金の全額を、日本銀行が常に保管しているため			
問14	日本銀行が「買いオペレーション」を実施し、金融機関が保有する通貨量を増やした際、その後期待される経済の仕組みと効果について述べたものとして正しいものはどれですか。 (2015年 長崎県公立入試 類似) 1. 金利が上がり、人々の預金意欲が高まることで、物価の上昇が抑えられる 2. 銀行の貸し出しが制限されることで、企業の倒産を防ぎ、通貨の安定が図られる 3. 金利が下がり、企業や個人が資金を借りやすくなることで、経済活動が活発になる 4. 通貨の価値が上がることで、輸入品の価格が安くなり、国民の消費が抑制される			

答え合わせ・解説

問1	答え 2 価値の尺度	貨幣には主に、交換を仲立ちする「交換の媒介」、モノの価値を測る物差しとなる「価値の尺度」、富を蓄える「価値の保存」といった役割があります。自給自足ではない社会において、肉と野菜のように性質が異なる商品を円滑に交換するためには、それらを「価格」という共通の単位で比較できるようにすることが不可欠です。
問2	答え 4 預金者に支払う利子よりも、企業などに貸し付ける際の利子を高く設定し、その差額を利益とする。	銀行は金融仲介機関としての役割を担っており、広く家計から集めた預金を、資金を必要とする企業などへ貸し付けています。このとき、貸し付けの際に受け取る利子を、預金者に支払う利子よりも高く設定することで、その差額が銀行の主な利益（利潤）となります。これを「利ざや」と呼び、銀行が組織を維持・運営するための重要な原動力となっています。
問3	答え 2 売りオペレーション	景気が良すぎて物価が上がりすぎるのを防ぐため、日本銀行は市場の通貨量を減らそうとします。日本銀行が国債を金融機関に売ると、その代金が民間から日本銀行に支払われるため、世の中に出回る通貨の量が減少します。この一連の流れを公開市場操作の「売りオペレーション」と呼びます。
問4	答え 2 住宅ローンの金利が上昇するため、住宅を購入しようとする個人が減り、不動産市場の過熱が収まる。	金利が上昇すると、お金を借りる際の手数料（利子）が高くなります。これにより、大きな買い物である住宅の購入を抑える人が増えたり、企業が投資を縮小したりするため、景気が冷え込む方向に働きます。これは、上がりすぎた物価（インフレーション）を落ち着かせるための意図的な動きです。金利が上がれば通常、預金金利は上昇し、通貨（円）の価値は高まる傾向にあります。
問5	答え 4 銀行の銀行	日本銀行は、私たち個人や一般企業が直接預金をしたり借入金をしたりする場所ではなく、民間の金融機関（市中銀行）を相手に取引を行うことから、「銀行の銀行」と呼ばれます。これにより、金融システム全体の安定を図る役割を担っています。
問6	答え 3 間接金融	資金の出し手（預金者）と借り手（企業など）の間に、銀行などの金融機関が仲介者として入る仕組みです。金融機関が自らの責任で資金を運用するため、借り手が返済できなくなった場合のリスクも金融機関が負うことになります。これに対し、企業が発行する株式などを投資家が直接購入する仕組みは直接金融と呼ばれます。
問7	答え 4 日本銀行が民間金融機関に国債を売却し、市場に出回る通貨の量を減らす。	景気が過熱している際、日本銀行は中央銀行として通貨の流通量を調整する役割を担います。日本銀行が保有する国債を民間銀行に売却すると、その代金として民間銀行が持つ現金が日本銀行へ吸い上げられます。これにより市場を流通する通貨量が減少し、銀行の貸出金利が上昇するため、企業の設備投資や個人の消費が抑えられて景気が沈静化します。この一連の操作を「売りオペレーション」と呼びます。
問8	答え 4 間接金融	資金の出し手（家計）と受け手（企業）の間に、銀行などの金融機関が介在して資金を仲介する仕組みです。家計は銀行に預金を行い、銀行はその資金をまとめて企業に融資します。貸し出し先の選定やリスク管理を金融機関が行う点が特徴です。
問9	答え 4 物価を安定させ、国民経済を健全に発展させること	日本銀行が「発券銀行」として通貨の量を管理する最大の目的は、お金の価値を一定に保つ「物価の安定」にあります。物価が急激に変動すると国民の生活や経済活動が混乱するため、景気の状態に応じて通貨の流通量を調整することで、経済の健全な成長を支えています。政府から独立した立場でこの役割を担うことで、短期的な政治判断に左右されない安定した金融運営が行われる仕組みになっています。
問10	答え 4 インフレーション	好景気のときには人々の購買意欲が高まり、商品に対する需要が供給を上回ることによって、物価が継続的に上昇します。この現象をカタカナでインフレーションと呼びます。これに対し、不景気の時に物価が下がり続ける現象はデフレーションと呼ばれ、区別して理解する必要があります。
問11	答え 1 発券銀行	日本銀行は、法律によって国内で唯一紙幣を発行することが認められた機関であり、この役割を「発券銀行」と呼びます。発行される紙幣は「日本銀行券」と呼ばれ、日本銀行は景気の状態に応じて通貨の流通量を調整することで、物価の安定を図る重要な責務を担っています。
問12	答え 4 間接金融	資金の出し手（家計）と借り手（企業）の間に、銀行などの金融機関が仲介役として入り、資金を融通する仕組みを指します。預金者は銀行に預け、銀行がその責任で企業へ融資を行うため、貸し手と借り手の結びつきが間接的であることからこのように呼ばれます。
問13	答え 2 市中の銀行などの金融機関に対して、資金の貸し出しや預金の受け入れを行うため	日本銀行は私たち一般の個人や企業とは取引を行わず、民間の銀行（市中銀行）などの金融機関を相手に取引を行います。具体的には、民間銀行に対して資金を貸し出したり、民間銀行が持っている余剰資金を日本銀行の当座預金として受け入れたりします。このため、銀行のための銀行という意味で「銀行の銀行」と呼ばれます。この仕組みを利用して、景気の状態に応じて通貨の流通量を調節する金融政策が行われます。
問14	答え 3 金利が下がり、企業や個人が資金を借りやすくなることで、経済活動が活発になる	買いオペレーションによって金融機関に資金が供給されると、市場での資金供給が過剰になり、お金を借りる際の利息（金利）が低下します。金利が下がれば、企業は設備投資のための資金を借りやすくなり、個人も住宅ローンなどを組みやすくなるため、停滞していた景気を回復させる効果が期待されます。

- 問1 不景気の際、日本銀行は景気を向上させるために、市中銀行が保有する国債などを買い入れることで、市場に流通する通貨量を増やす政策を行います。このような日本銀行による金融政策の名称を何といいますか。 (2018年 高知県公立入試 類似)
1. 預金準備率の引き上げ 2. 所得再分配 3. 買いオペレーション 4. 売りオペレーション
- 問2 中央銀行が国債などの売買を通じて市場の通貨量を調節する「公開市場操作」において、インフレーション（物価の継続的な上昇）の懸念があるなど景気が過熱している際にとられる一連の動きとその影響として、適切なものはどれですか。 (2017年 徳島県公立入試 類似)
1. 日本銀行が民間銀行の保有する国債を買い入れることで通貨を放出し、金利を低下させることで、消費を活性化させる。
2. 日本銀行が民間銀行に対して国債の発行を停止させ、通貨の新規発行を抑えることで、市場を沈静化させる。
3. 日本銀行が保有する国債を民間銀行に売ることで通貨を回収し、金利を上昇させることで、企業の投資を抑制する。
4. 日本銀行が民間銀行に対して直接的な増税を指示し、通貨の流通量を強制的に減らすことで、物価の安定を図る。
- 問3 景気が過熱し、物価が持続的に上昇することによって通貨の価値が相対的に下落する現象を何と呼ぶか。また、その現象が起きた際の消費者への影響について述べたものとして正しい組み合わせを選びなさい。 (2018年 神奈川県公立入試 類似)
1. インフレーションと呼ばれ、同じ金額の通貨で買える商品の量が多くなるため、実質的な貨幣の価値は上昇する
2. デフレーションと呼ばれ、同じ金額の通貨で買える商品の量が多くなるため、実質的な貨幣の価値は上昇する
3. インフレーションと呼ばれ、同じ金額の通貨で買える商品の量が少なくなるため、実質的な貨幣の価値は下落する
4. デフレーションと呼ばれ、同じ金額の通貨で買える商品の量が少なくなるため、実質的な貨幣の価値は下落する
- 問4 物価が上がり続け、景気が過熱しすぎていると判断される場合、日本銀行が行う「売りオペレーション」による影響として正しいものはどれですか。 (2020年 愛媛県公立入試 類似)
1. 日本銀行が円を売って外国通貨を買うことで、円安を誘導し、日本の輸出企業の利益を増やす。
2. 日本銀行が銀行に国債を売ることで、銀行の資金が減り、金利が上がることで企業の借り入れが抑制される。
3. 日本銀行が紙幣を大量に発行して政府に供給することで、政府の借金を肩代わりし、財政の健全化を図る。
4. 日本銀行が銀行から国債を買うことで、銀行の資金が増え、金利が下がることで個人の消費が拡大する。
- 問5 景気が後退している不況期において、日本銀行が市場の通貨量を増やして景気の回復を図るために行う操作として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 鳥取県公立入試 類似)
1. 日本銀行が定める政策金利を引き上げ、企業が資金を借りにくくする操作
2. 保有している国債などを民間銀行に売却し、市場の資金を吸い上げる操作
3. 民間銀行が日本銀行に預けなければならない資金の割合（準備率）を高く設定する操作
4. 民間銀行が保有する国債などを買い取り、代金を支払うことで市場に資金を供給する操作
- 問6 1980年代後半から日本で発生したバブル経済の特徴について、その背景と内容を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2025年 島根県公立入試 類似)
1. 重化学工業の発展を背景に、10年以上にわたって年平均10%前後の高い経済成長を維持した。
2. 投機目的の資金が流入したことで、土地や株式の価格が経済の実態を超えて急騰した。
3. 長引く不況により物価が継続的に下落し、企業の倒産や失業者の増加が社会問題となった。
4. 石油の供給不足により物価が激しく上昇し、戦後初めて実質経済成長率がマイナスになった。
- 問7 景気が後退している局面において、日本銀行が市場の通貨量を調整して景気の回復を図る「買いオペレーション」の仕組みとして、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 福岡県公立入試 類似)
1. 日本銀行が保有する国債などを市中の金融機関に売却することで、市場に出回る通貨の量を増やし、金利を下げる。
2. 日本銀行が市中の金融機関から国債などを買い入れることで、市場に出回る通貨の量を増やし、金利を下げる。
3. 日本銀行が保有する国債などを市中の金融機関に売却することで、市場に出回る通貨の量を減らし、金利を上げる。
4. 日本銀行が市中の金融機関から国債などを買い入れることで、市場に出回る通貨の量を減らし、金利を上げる。
- 問8 家計や企業から「預金」として資金を集め、その資金を必要としている別の個人や企業に「貸し出し金」として提供するという、銀行が果たしている「仲立ち」の役割を何といいますか。 (2019年 福岡県公立入試 類似)
1. 支払準備金制度 2. 金融仲介機能 3. 通貨発行権 4. 直接金融
- 問9 金融機関が仲介する「間接金融」の仕組みにおいて、銀行が果たしている役割と責任について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 山梨県公立入試 類似)
1. 企業が発行した株式を家計が購入する際、その取引の手続きを代行するだけの役割。
2. 政府の指示に基づいて、特定の公共事業にのみ資金を配分する役割。
3. 預金者から集めた資金を、銀行自身の判断と責任で企業などへ融資する役割。
4. 家計が直接企業に資金を貸し付ける際に、貸し倒れのリスクをすべて家計に負わせる役割。
- 問10 景気変動のモデル図において、経済活動が停滞し、景気の「谷」にあたる時期に日本銀行が実施する金融政策について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 奈良県公立入試 類似)
1. 日本銀行が一般の銀行に国債を売り、市場に流通する通貨量を減らす政策
2. 日本銀行が紙幣の発行を停止し、民間の経済活動を制限する政策
3. 政府が所得税や法人税の税率を引き上げ、景気の過熱を抑制する政策
4. 日本銀行が一般の銀行から国債を買い入れ、市場に流通する通貨量を増やす政策
- 問11 不景気の際に日本銀行が行う金融政策のうち、一般の銀行から国債などを買い取る「買いオペレーション」の目的と仕組みを説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2023年 兵庫県公立入試 類似)
1. 銀行が保有する資金量を増やし、貸し出し金利を下げることで、企業への融資を促す。
2. 銀行が保有する資金量を増やし、預金金利を上げることで、個人の貯蓄を促進する。
3. 銀行が保有する資金量を減らし、貸し出し金利を上げることで、過剰な消費を抑える。
4. 銀行が保有する資金量を減らし、市場の通貨流通量を制限することで、物価の上昇を抑える。
- 問12 日本銀行が「発券銀行」として日本銀行券（紙幣）の供給量を調節し、金融政策を行うことで達成しようとしている、経済上の最も重要な目的は何ですか。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
1. 外国との貿易を制限し、国内市場の独占を維持すること
2. 全ての国民に対して均等に現金を配分し、所得格差を是正すること
3. 政府の財政赤字を埋めるために、無制限に貨幣を増刷すること
4. 物価を安定させ、国民経済を健全に発展させること

答え合わせ・解説

問1	答え 3 買いオペレーション	日本銀行が市場の通貨量を調節する「公開市場操作」の一つです。不景気のときには、日本銀行が銀行から国債を買うことで、銀行が貸し出しに回せるお金（通貨量）を増やし、金利を下げて企業の投資や消費を促そうとします。これに対し、景気が加熱しすぎた際に行われる、国債を売って通貨量を減らす操作を「売りオペレーション」と呼びます。
問2	答え 3 日本銀行が保有する国債を民間銀行に売ること で通貨を回収し、金利を上昇させることで、 企業の投資を抑制する。	景気が過熱し物価が上がりすぎているときは、日本銀行は市場の通貨量を減らすことで金利を上げ、経済活動を落ち着かせようとします。このとき、日本銀行は保有している国債を民間銀行に売り、その代金を回収する「売りオペレーション」を行います。これにより銀行が貸し出せる資金が減り、金利が上昇するため、企業の設備投資などが抑制される効果があります。
問3	答え 3 インフレーションと呼ばれ、同じ金額の通貨 で買える商品の量が少なくなるため、実質的 な貨幣の価値は下落する	物価が上昇するということは、以前と同じ量の商品を手に入れるためにより多くの通貨を支払わなければならないことを意味します。この現象をインフレーションと呼び、結果として「お金の重み」である貨幣の価値は、物価が上がる前と比べて相対的に低くなります。
問4	答え 2 日本銀行が銀行に国債を売ること、銀行の 資金が減り、金利が上がることで企業の借り 入れが抑制される。	景気が過熱し物価が高騰（インフレ）している場合、日本銀行は「売りオペレーション」を行います。銀行に国債を売って代金を回収することで、市場に出回る通貨量を減らします。銀行の貸し出し資金が不足気味になると金利が上昇し、企業や家計はお金を借りにくくなります。これにより、過剰な投資や消費が抑えられ、物価の安定につながります。なお、為替介入や紙幣の発行による借金返済は、通常の金融政策の仕組みとは異なります。
問5	答え 4 民間銀行が保有する国債などを買い取り、代 金を支払うことで市場に資金を供給する操作	不況時には、世の中に出回るお金の量を増やして経済を活性化させる必要があります。日本銀行が民間銀行から国債などを買い取る「買いオペレーション」を行うと、その代金が民間銀行に渡り、社会全体の通貨供給量が増加します。これにより金利が低下し、企業や家計が資金を借りやすくなることで、投資や消費が刺激されます。
問6	答え 2 投機目的の資金が流入したことで、土地や株 式の価格が経済の実態を超えて急騰した。	バブル経済の最大の特徴は、企業の利益や個人の所得といった経済の実態（実体経済）を切り離して、資産価値だけが膨れ上がった点にあります。低い金利で資金を借りやすくなった銀行から、企業や個人が土地や株を転売して利益を得る「投機」のために多額の資金を投じたことが、異常な価格上昇の要因となりました。
問7	答え 2 日本銀行が市中の金融機関から国債などを買 い入れることで、市場に出回る通貨の量を増 やし、金利を下げる。	不景気の際、日本銀行は世の中のお金の循環を促すために、民間銀行が保有する国債を買い取ります。これにより、民間銀行が自由に動かせる資金（通貨供給量）が増加します。市場にお金がある状態になると、お金を借りる際の価格である「金利（利子）」が低下し、企業や個人がお金を借りやすい環境が整えられます。
問8	答え 2 金融仲介機能	銀行は、資金に余裕がある主体から預金を受け取り、資金を必要とする主体へ貸し出しを行うことで、経済活動を円滑に進める役割を担っています。このように資金の出し手と受け手の間に入って資金を融通することを、金融仲介機能と呼びます。これは、銀行などの金融機関が間に入る「間接金融」の代表的形態です。
問9	答え 3 預金者から集めた資金を、銀行自身の判断と 責任で企業などへ融資する役割。	間接金融では、銀行が預金者に対して元本の払い戻しを保証する責任を負いつつ、集めた資金をどの企業に貸し出すかを銀行自らが審査・判断します。これにより、個人の預金者は貸付先の倒産リスクを直接負うことなく、安全に資金を預けることができます。これに対し、直接金融である株式投資などは、投資家が直接その企業のリスクを負うことになります。
問10	答え 4 日本銀行が一般の銀行から国債を買い入れ、 市場に流通する通貨量を増やす政策	景気が落ち込んでいる時期（不景気）には、日本銀行は市場の通貨量を増やすことで景気の回復を図ります。具体的には、日本銀行が一般の民間銀行が保有している国債を買い上げる「買いオペレーション」を実施します。これにより、銀行が持つ資金が増え、企業や個人への貸し出しが促進されることで、経済活動の活性化を狙います。
問11	答え 1 銀行が保有する資金量を増やし、貸し出し金 利を下げることで、企業への融資を促す。	景気が停滞しているとき、日本銀行は市場に流通するお金の量を増やすために「買いオペレーション」を行います。日本銀行が民間の銀行から国債などを買い取ることで、銀行側が自由に使える資金が増えます。その結果、銀行は企業などへお金を貸し出しやすくなり、金利が低下することで経済活動を刺激する効果があります。
問12	答え 4 物価を安定させ、国民経済を健全に発展させ ること	日本銀行が「発券銀行」として通貨の量を管理する最大の目的は、お金の価値を一定に保つ「物価の安定」にあります。物価が急激に変動すると国民の生活や経済活動が混乱するため、景気の状態に応じて通貨の流通量を調整することで、経済の健全な成長を支えています。政府から独立した立場でこの役割を担うことで、短期的な政治判断に左右されない安定した金融運営が行われる仕組みになっています。

問1	中央銀行である日本銀行が行う業務のうち、「発券銀行」としての役割にあてはまる説明として最も適当なものはどれですか。（2025年 徳島県公立入試 類似）			
	1. 国内で流通する紙幣（日本銀行券）を独占的に発行・管理する。	2. 税金の収納や国債の発行など、国の資金に関する業務を行う。	3. 市中の一般の銀行に対して資金の貸し出しや預金の受け入れを行う。	4. 一般の企業や個人に対して資金の貸し出しや口座開設を行う。
問2	景気が悪化している局面において、日本銀行が「買いオペレーション」を実施した場合、市場ではどのような変化が起きると考えられますか。最も適切なものを選びなさい。（2021年 新潟県公立入試 類似）			
	1. 日本銀行が国債を売却した影響で、市場の通貨が回収され、インフレーションが鎮静化する。	2. 世の中の資金供給が制限されることで、銀行の貸出金利が上昇し、住宅ローンの利用が減少する。	3. 民間銀行が保有する資金量が増え、企業への貸し出しや投資が行われやすくなる。	4. 民間銀行から資金が吸い上げられるため、市場の通貨量が減少し、通貨の価値が上昇する。
問3	日本銀行が不況期に買いオペレーションを行い、市場に流通する通貨量を増やした結果、期待される経済への影響として適切なものを選びなさい。（2023年 群馬県公立入試 類似）			
	1. 銀行の貸出金利が上がり、個人の貯蓄意欲が高まることで消費が抑制される	2. 通貨の価値が急激に高まり、輸入品の価格が安くなることでデフレが進行する	3. 銀行の貸出金利が下がり、企業が資金を借りやすくなることで設備投資が活発になる	4. 政府の借金である国債がすべて回収され、国の財政赤字が解消される
問4	日本の経済において「円高」が進行した場合に生じる具体的な影響として、最も適切なものはどれですか。（2026年 三重県公立入試 類似）			
	1. 海外から輸入する天然ガスや小麦の価格が下がるため、国内の物価を安定させる要因となる	2. 海外での販売価格が相対的に安くなるため、自動車などの輸出企業の利益が増大する	3. 海外旅行へ行く際、現地のホテル代や食事代として支払うための円が、円安時よりも多く必要になる	4. 日本を訪れる外国人観光客にとって、本国通貨を円に換えた時の金額が増えるため、観光消費が伸びる
問5	日本では、2024年度から北里柴三郎の肖像が描かれた新しい千円札などの紙幣が導入されました。これらの「日本銀行券」を国内で唯一発行することができる、日本銀行が持つ役割を何といいますか。（2021年 沖縄県公立入試 類似）			
	1. 普通銀行	2. 政府の銀行	3. 銀行の銀行	4. 発券銀行
問6	貨幣の働きに関する具体的な場面を想定したとき、「交換手段」としての機能が最も直接的に表れている説明として適切なものはどれですか。（2021年 佐賀県公立入試 類似）			
	1. 国や地方自治体に対して、期限までに定められた金額の税金を納付する。	2. 将来の大きな買い物に備えて、毎月の給与の一部を銀行口座に預金して蓄える。	3. 文房具店において、代金として100円硬貨を支払い、ノート1冊を受け取る。	4. スーパーマーケットにおいて、商品の棚に「150円」と書かれた値札が付いているのを確認する。
問7	かつて行われていた「物物交換」と比較したとき、社会に貨幣が普及したことで得られた経済的な利点として、適切な説明はどれですか。（2023年 富山県公立入試 類似）			
	1. 貨幣自体が食べ物や衣服のように生活に直接役立つため、交換しなくても豊かになれるようになった。	2. 貨幣があれば労働をする必要がなくなり、社会全体の生産性が飛躍的に向上した。	3. すべての商品の価値が貨幣の素材（金属など）の重さだけで決まるようになり、価格変動がなくなった。	4. 自分の欲しいものと相手の欲しいものが一致しなくても、貨幣を介することで取引が可能になった。
問8	景気後退期において、日本銀行が公開市場操作の一環として「買いオペレーション」を実施した際、金融市場で直接的に起こると予想される変化はどれですか。（2023年 兵庫県公立入試 類似）			
	1. 日本銀行の保有する資金量が増加し、政府の財政支出が拡大する。	2. 民間銀行が保有する資金量が減少し、市場の利子率が上昇する。	3. 民間銀行の国債保有量が増加し、企業への融資額が減少する。	4. 民間銀行が保有する資金量が増加し、市場の利子率が低下する。
問9	日本の中央銀行である日本銀行が果たす役割について、その業務内容を正しく説明しているものを選んでください。（2023年 奈良県公立入試 類似）			
	1. 政府の指示に基づいて、毎年の国の予算案を作成し、税金の徴収を直接行う役割	2. 輸出入の制限や関税の決定を行い、海外との貿易を直接管理する役割	3. 日本で唯一、紙幣（日本銀行券）を発行することができる「発券銀行」としての役割	4. 家計の預金を預かったり、一般企業に対して事業資金の貸し出しを行ったりする役割
問10	政府と日本銀行は協力して景気の調整を行っています。日本銀行が景気後退期に行う金融政策として、正しい内容はどれですか。（2016年 佐賀県公立入試 類似）			
	1. 公共事業への支出を増やし、失業者を雇い入れることで国民の所得を直接的に増やす。	2. 日本銀行が直接、すべての民間企業に対して製品の価格を下げるよう命令を出す。	3. 市場から国債を買い入れ、世の中の通貨量を増やすことで金利を下げ、企業が資金を借りやすくなる。	4. 所得が高い人ほど高い税率を課す累進課税制度を強化し、社会の貧富の格差を是正する。
問11	企業が証券市場を通じて、投資家から直接資金を集める方法について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2024年 福岡県公立入試 類似）			
	1. 日本銀行が市中銀行から国債を買い入れることで、世の中の通貨量を増やす仕組み。	2. 企業が他の企業から設備を借り、その利用料を支払うことで初期投資を抑える仕組み。	3. 企業が銀行などの金融機関から融資を受け、元本に利子を加えて返済する仕組み。	4. 企業が株式や社債を発行し、投資家がそれを購入することで資金を調達する仕組み。
問12	景気が後退し、物価が下がり続けるデフレ傾向にあるとき、日本銀行が市場に出回る通貨の量を増やして景気を刺激しようとする際に行う操作として、最も適切な説明を選択してください。（2017年 埼玉県公立入試 類似）			
	1. 日本銀行が保有する国債を民間の金融機関に売り、その代金を回収することで市場の資金を減らす。	2. 政府が道路や橋などの公共事業への支出を増やし、社会全体の仕事の量を増やす。	3. 公正取引委員会が価格カルテルを制限することで、企業間の公正な競争を促進する。	4. 日本銀行が民間の金融機関から国債を買い入れ、その代金を支払うことで市場の資金を増やす。
問13	日本銀行が「買いオペレーション」を実施し、金融機関が保有する通貨量を増やした際、その後に期待される経済の仕組みと効果について述べたものとして正しいものはどれですか。（2015年 長崎県公立入試 類似）			
	1. 通貨の価値が上がることで、輸入品の価格が安くなり、国民の消費が抑制される	2. 金利が下がり、企業や個人が資金を借りやすくなることで、経済活動が活発になる	3. 銀行の貸し出しが制限されることで、企業の倒産を防ぎ、通貨の安定が図られる	4. 金利が上がリ、人々の預金意欲が高まることで、物価の上昇が抑えられる

答え合わせ・解説

問1	答え 1 国内で流通する紙幣（日本銀行券）を独占的に発行・管理する。	日本銀行が「発券銀行」と呼ばれるのは、国内で流通する紙幣を独占的に発行・管理する権限を持っているためです。一般の銀行に対して貸し出しを行う業務は「銀行の銀行」、国の税金や国債に関する業務を行う役割は「政府の銀行」にあてはまります。
問2	答え 3 民間銀行が保有する資金量が増え、企業への貸し出しや投資が行われやすくなる。	買いオペレーションが実施されると、日本銀行が代金を支払うことで、民間銀行の手元にある資金が増加します。銀行は余った資金を企業への融資や個人へのローンに回そうとするため、市場全体の金利が低下し、経済全体にお金が回りやすくなります。これは不景気を脱出するための典型的な金融政策の手法です。
問3	答え 3 銀行の貸出金利が下がり、企業が資金を借りやすくなることで設備投資が活発になる	買いオペレーションによって市場に出回る通貨量が増えると、お金を借りやすくなるため、銀行の貸出金利（利子率）が低下します。金利が下がれば、企業は新しい工場を建てるための資金を借りやすくなり、個人も住宅や自動車のローンを組みやすくなるため、社会全体の投資や消費が促進され、景気の回復へとつながります。国債の回収は一時的な通貨量調整の手段であり、国の財政赤字そのものを解消する仕組みではありません。
問4	答え 1 海外から輸入する天然ガスや小麦の価格が下がるため、国内の物価を安定させる要因となる	円高の状態では、円の価値が高いため、海外の製品をより少ない円で買うことができます。そのため、海外から輸入される原材料（エネルギー資源や食料品など）の価格が下がり、国内の物価を抑える効果があります。一方で、輸出企業にとっては、海外でドルで売り上げた利益を円に戻す際に目減りしてしまうため、一般的には不利益となります。また、外国人観光客にとっては日本での買い物が高くてつらくなり、インバウンド消費には不利に働きます。
問5	答え 4 発券銀行	日本銀行は、日本で唯一の「日本銀行券」を発行する権限を持つ中央銀行です。この役割を「発券銀行」と呼び、私たちが普段使用している一万円札、五千円札、千円札などの紙幣を供給しています。一方、硬貨（貨幣）については日本銀行ではなく政府が発行しています。
問6	答え 3 文房具店において、代金として100円硬貨を支払い、ノート1冊を受け取る。	貨幣を介して特定の財（この場合はノート）を入手する行為は、貨幣が交換の媒介となっていることを示しており、これが「交換手段」の典型的な例です。値札で価格を確認するのは「価値の尺度（モノの価値を測る基準）」、預金は「価値の保存（富を蓄える）」という別の機能を説明したものです。
問7	答え 4 自分の欲しいものと相手の欲しいものが一致しなくても、貨幣を介することで取引が可能になった。	物物交換では「自分が持っているもの」と「相手が欲しいがっているもの」が完全に一致しなければ取引が成立しませんでした。しかし、貨幣が交換手段として機能することで、いったん商品を貨幣に換え、その貨幣を用いて別の場所や時間で自分が必要なものを手に入れることができるようになりました。このように、貨幣は交換の不一致を解消し、取引を円滑にする背景を持っています。
問8	答え 4 民間銀行が保有する資金量が増加し、市場の利子率が低下する。	公開市場操作（買いオペレーション）は、日本銀行が国債を買い取る対価として、民間銀行の当座預金口座に代金を振り込む形で行われます。これにより民間銀行の資金量（通貨供給量）が増えるため、資金の借り手にとってのコストである「利子率（金利）」が低下するメカニズムになっています。
問9	答え 3 日本で唯一、紙幣（日本銀行券）を発行することができる「発券銀行」としての役割	日本銀行は、日本で唯一の「発券銀行」として、日本銀行券（紙幣）の発行・管理を行っています。これに加え、民間の金融機関から預金を受け入れたり貸し出しを行ったりする「銀行の銀行」としての役割や、国庫金の出し入れや公債の発行など、国の資金を管理する「政府の銀行」としての役割を担っています。一般の個人や企業が日本銀行に口座を作り、預金することはできません。
問10	答え 3 市場から国債を買い入れ、世の中の通貨量を増やすことで金利を下げ、企業が資金を借りやすくする。	日本銀行が行う景気対策は「金融政策」と呼ばれます。景気が停滞している局面では、買いオペレーションを通じて市場の通貨量を増やし、金利を低下させることで、企業が設備投資のためのお金を借りやすい環境を整えます。一方、公共事業の拡大や税制の変更は政府が行う「財政政策」に該当します。日本銀行は市場の通貨量や金利の調節を通じて間接的に景気に影響を与えるのであり、個別の企業の価格を直接決定する権限は持ちません。
問11	答え 4 企業が株式や社債を発行し、投資家がそれを購入することで資金を調達する仕組み。	直接金融は、企業が自ら発行した株式や社債を投資家が直接購入することで、銀行などの仲介を介さずに資金を調達する仕組みを指します。投資家は企業の業績や将来性を判断して、直接リスクを負いながら投資を行います。
問12	答え 4 日本銀行が民間の金融機関から国債を買い入れ、その代金を支払うことで市場の資金を増やす。	不況の際には、日本銀行が民間の金融機関から国債などを買い取る「買いオペレーション」を行います。これにより、代金として支払われた現金が民間金融機関に流れ、企業や個人への貸し出しが容易になることで、経済活動を活性化させる狙いがあります。国債を売る操作は、景気が過熱してインフレの恐れがあるときに行われる逆の操作です。
問13	答え 2 金利が下がり、企業や個人が資金を借りやすくなることで、経済活動が活発になる	買いオペレーションによって金融機関に資金が供給されると、市場での資金供給が過剰になり、お金を借りる際の利息（金利）が低下します。金利が下がれば、企業は設備投資のための資金を借りやすくなり、個人も住宅ローンなどを組みやすくなるため、停滞していた景気を回復させる効果が期待されます。

- 問1 家計などの資金の出し手から預金としてお金を預かり、その資金を企業などの借り手に貸し出す仕組みを、銀行などの金融機関が仲立ち（媒介）することから何と呼びますか。（2026年 山梨県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|----------|---------|---------|
| 1. 公開市場操作 | 2. 財政投融资 | 3. 間接金融 | 4. 直接金融 |
|-----------|----------|---------|---------|
- 問2 景気が好転して失業率が低下している状況において、日本銀行が市場の通貨量を調節するために行う「売りオペレーション」の説明として適切なものはどれですか。（2020年 島根県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 日本銀行が保有する国債を民間の金融機関に売り、市場の通貨量を減らす。 | 2. 日本銀行が企業に対して直接国債を売り、設備投資を抑制させる。 | 3. 日本銀行が民間の金融機関から国債を買い取り、市場の通貨量を増やす。 | 4. 日本銀行が政府から直接国債を買い取り、公共事業の予算を増やす。 |
|---------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|
- 問3 不況期において、日本銀行が景気を刺激するために行う金融政策の一つに「買いオペレーション」があります。この政策において、日本銀行が市中銀行に対して行う具体的な行動として正しいものはどれですか。（2015年 富山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------|-----------------------|---------------------|----------------------|
| 1. 市中銀行に対して国債を売り出す | 2. 市中銀行からの預金準備率を引き上げる | 3. 市中銀行への貸出金利を引き上げる | 4. 市中銀行が保有する国債を買い入れる |
|--------------------|-----------------------|---------------------|----------------------|
- 問4 好景気（好況）の局面などで、社会全体の需要が供給を上回り、モノやサービスの価格が全体的に継続して上昇する現象を何といいますか。（2020年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------|-------------|--------------|-------|
| 1. デフレーション | 2. インフレーション | 3. スタグフレーション | 4. 円高 |
|------------|-------------|--------------|-------|
- 問5 日本銀行が「銀行の銀行」としての役割を果たす具体的な仕組みについて、最も適切な説明を選びなさい。（2017年 長崎県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 税金の納付を受け付けたり、公共事業の費用を政府に代わって支払ったりする仕組み。 | 2. 日本で唯一の紙幣（日本銀行券）を発行し、市場に流通する貨幣の量を調整する仕組み。 | 3. 個人や企業から直接預金を集め、それを原資として住宅ローンなどの貸し出しを行う仕組み。 | 4. 一般の銀行の資金が不足した際に融資を行い、金融システムの混乱や連鎖的な倒産を防ぐ仕組み。 |
|--|---|---|---|
- 問6 景気変動のモデル図において、経済活動が停滞し、景気の「谷」にあたる時期に日本銀行が実施する金融政策について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。（2017年 奈良県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------------------------------|------------------------------------|---|--------------------------------------|
| 1. 日本銀行が紙幣の発行を停止し、民間の経済活動を制限する政策 | 2. 政府が所得税や法人税の税率を引き上げ、景気の過熱を抑制する政策 | 3. 日本銀行が一般の銀行から国債を買い入れ、市場に流通する通貨量を増やす政策 | 4. 日本銀行が一般の銀行に国債を売り、市場に流通する通貨量を減らす政策 |
|----------------------------------|------------------------------------|---|--------------------------------------|
- 問7 日本の金融機関の役割について述べた次の説明のうち、特定の地域を主な営業基盤とし、家計から集めた預金を地元の企業などに融資することで地域経済の活性化を支える民間銀行として、最も適切な名称を答えなさい。（2016年 愛媛県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 証券会社 | 2. 日本銀行 | 3. 中央銀行 | 4. 地方銀行 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問8 日本銀行が担う「発券銀行」としての役割と、政府や国会の役割を区別したとき、日本銀行の業務として正しい説明はどれですか。（2017年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 国会において、国の収入と支出の計画である予算を審議し議決する | 2. 電気やガスなどの公共料金の価格を決定し、国民生活の混乱を防ぐ | 3. わが国唯一の中央銀行として、日本銀行券を発行し流通量を管理する | 4. 道路や橋、公園などの社会資本を直接供給し、経済基盤を整備する |
|-----------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
- 問9 景気が過熱して物価が上がり続けるインフレーションの懸念があるとき、日本銀行が行う金融政策とその目的についての説明として、最も適切なものを次の中から選びなさい。（2020年 岐阜県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 金利を下げることで、市場に出回る貨幣の量を増やし、経済活動をさらに刺激する。 | 2. 金利を上げることで、企業や個人が資金を借りにくくし、景気を抑制して物価の安定を図る。 | 3. 公共事業を削減することで、政府の支出を抑え、市場の資金流通量を直接減少させる。 | 4. 増税を行うことで、国民の可処分所得を減らし、消費行動を直接抑えることで物価の上昇を止める。 |
|---|---|--|--|
- 問10 あるスーパーマーケットの店長が、新店舗の出店費用を賄うために「銀行からの借り入れに頼らず、株式や債券を発行して投資家に買ってもらうことで資金を準備した」と述べています。この資金調達の方法に関する説明として、最も適切なものはどれですか。（2019年 山口県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 企業が事業活動で得た利益を内部に蓄積し、そこから必要な経費を捻出する仕組みである。 | 2. 銀行が預金者から集めた資金を、銀行側の判断と責任で企業に融資する仕組みである。 | 3. 資金の出し手である投資家が、株式などを購入することで企業に直接資金を供給する仕組みである。 | 4. 日本銀行が景気を調整するために、市中の金融機関と国債などを売買する仕組みである。 |
|--|--|--|---|
- 問11 キャッシュレス決済の仕組みと通貨の性質について述べた次の文のうち、最も適切なものはどれか。（2025年 青森県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. クレジットカード決済などは、銀行にある預金を通貨のように機能させて支払いを行っている。 | 2. キャッシュレス決済で使われる電子データは、日本銀行が発行する現金通貨と同じ法的強制力を持つ。 | 3. 銀行の預金は、利子を得るための貯蓄手段であり、支払い手段としての通貨の性質は持たない。 | 4. キャッシュレス決済が普及すると、通貨の持つ「交換手段」としての機能は失われることになる。 |
|--|---|--|---|
- 問12 不景気の際に日本銀行が行う金融政策のうち、一般の銀行から国債などを買い取る「買いオペレーション」の目的と仕組みを説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2023年 兵庫県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 銀行が保有する資金量を増やし、預金金利を上げることで、個人の貯蓄を促進する。 | 2. 銀行が保有する資金量を増やし、貸し出し金利を下げることで、企業への融資を促す。 | 3. 銀行が保有する資金量を減らし、市場の通貨流通量を制限することで、物価の上昇を抑える。 | 4. 銀行が保有する資金量を減らし、貸し出し金利を上げることで、過剰な消費を抑える。 |
|---|--|---|--|
- 問13 日本銀行が公開市場操作において、民間金融機関から国債を買い入れる政策を実施した場合、その後の経済への影響として期待される因果関係の説明として正しいものはどれですか。（2024年 香川県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 市場の通貨量が増えることで、民間の利子率（金利）が上昇し、国民の預金意欲が高まる。 | 2. 市場の通貨量が増えることで、民間の利子率（金利）が低下し、企業の設備投資が活発になる。 | 3. 市場の通貨量が減ることで、物価の上昇が抑えられ、企業の過剰な在庫投資が抑制される。 | 4. 市場の通貨量が減ることで、通貨の価値が上がり、輸入品の価格が下がることで消費が拡大する。 |
|--|--|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 間接金融	資金の出し手（家計）と借り手（企業）の間に銀行などの金融機関が入り、預金という形で集めた資金を貸し出す仕組みを間接金融といいます。貸し手と借り手が直接取引を行わないため、この名称と呼ばれます。
問2	答え 1 日本銀行が保有する国債を民間の金融機関に売り、市場の通貨量を減らす。	景気が過熱している好況期には、物価の上昇を抑えるために市場に出回るお金の量を減らす必要があります。日本銀行が保有している国債を民間の金融機関に売却すると、その代金が民間から日本銀行へ流れるため、結果として市場の通貨量が減少します。これを「売りオペレーション」と呼びます。
問3	答え 4 市中銀行が保有する国債を買い入れる	日本銀行が市中銀行から国債を買い入れることで、その代金として日本銀行から市中銀行へ通貨が支払われます。これにより市場に流通する通貨量が増加し、銀行が企業や個人へ融資を行いやすくなるため、景気を向上させる効果が期待されます。対照的に、国債を売る行為は「売りオペレーション」と呼ばれ、景気が過熱している際に行われます。
問4	答え 2 インフレーション	好景気のときには人々の購買意欲が高まり、商品に対する需要が供給を上回ること、物価が継続的に上昇します。この現象をカタカナでインフレーションと呼びます。これに対し、不景気の時に物価が下がり続ける現象はデフレーションと呼ばれ、区別して理解する必要があります。
問5	答え 4 一般の銀行の資金が不足した際に融資を行い、金融システムの混乱や連鎖的な倒産を防ぐ仕組み。	民間銀行は、預金者からの払い戻しが重なるなどして一時的に手元の資金が不足することがあります。このような際、日本銀行が「最後の貸し手」として民間銀行に資金を供給することで、決済が滞るのを防ぎ、預金者が安心して銀行を利用できる環境を維持しています。これに対して、政府の資金を扱うのは「政府の銀行」としての役割です。
問6	答え 3 日本銀行が一般の銀行から国債を買い入れ、市場に流通する通貨量を増やす政策	景気が落ち込んでいる時期（不景気）には、日本銀行は市場の通貨量を増やすことで景気の回復を図ります。具体的には、日本銀行が一般の民間銀行が保有している国債を買い上げる「買いオペレーション」を実施します。これにより、銀行が持つ資金が増え、企業や個人への貸し出しが促進されることで、経済活動の活性化を狙います。
問7	答え 4 地方銀行	地方銀行は、特定の都道府県や地域を中心に営業活動を行う民間金融機関です。地域住民（家計）からの預金を、その地域の企業に貸し出す（融資する）という「金融仲介機能」を果たすことで、地元の産業を支え、地域経済の循環を促す役割を担っています。
問8	答え 3 わが国唯一の中央銀行として、日本銀行券を発行し流通量を管理する	日本銀行は「中央銀行」として、通貨（日本銀行券）の発行と管理を通じて経済の安定を図ります。これに対し、予算の議決は国会が行い、公共料金の認可や社会資本（インフラ）の整備は、主に政府や地方公共団体が政策として行う業務であるため、中央銀行の役割とは異なります。
問9	答え 2 金利を上げることで、企業や個人が資金を借りにくくし、景気を抑制して物価の安定を図る。	景気が良すぎて物価が急激に上昇する（好況・インフレの）とき、日本銀行は景気の行き過ぎを抑えるために金利を上げる操作を行います。金利が上がると、企業は資金を借りるコストが高くなるため、新たな生産活動や設備投資を控えるようになります。これにより、市場に流通するお金の量が抑えられ、需要が落ち着くことで、物価の安定へとつながります。なお、増税や公共事業の調整は政府が行う「財政政策」であり、日本銀行が行う「金融政策」とは区別する必要があります。
問10	答え 3 資金の出し手である投資家が、株式などを購入することで企業に直接資金を供給する仕組みである。	店長が述べた手法は、金融機関という仲介者を介さずに資金を調達する直接金融に該当します。この仕組みでは、投資家が購入した株式や債券の代金が、証券会社などを通じて直接企業に届きます。一方、銀行が間に入って預金を貸し付ける形態は間接金融と呼ばれ、リスクの所在や資金の流れが異なります。
問11	答え 1 クレジットカード決済などは、銀行にある預金を通貨のように機能させて支払いを行っている。	通貨には、価値を測る「尺度」、支払いに使う「交換手段」、価値を保存する「貯蔵」の機能がある。銀行にある預金は、単に貯蓄されるだけでなく、キャッシュレス決済などを通じて口座振替で支払いに利用されるため、「預金通貨」として交換手段の役割も果たしている。
問12	答え 2 銀行が保有する資金量を増やし、貸し出し金利を下げることで、企業への融資を促す。	景気が停滞しているとき、日本銀行は市場に流通するお金の量を増やすために「買いオペレーション」を行います。日本銀行が民間の銀行から国債などを買い取ることで、銀行側が自由に使える資金が増えます。その結果、銀行は企業などへお金を貸し出しやすくなり、金利が低下することで経済活動を刺激する効果があります。
問13	答え 2 市場の通貨量が増えることで、民間の利子率（金利）が低下し、企業の設備投資が活発になる。	日本銀行が国債を買い入れると、民間金融機関が自由に使える資金が増加します。これにより、市場では資金の供給が需要を上回る形となり、利子率（金利）が低下します。金利が下がると、企業は低い利息負担で銀行から資金を借りやすくなるため、工場を建てたり機械を買ったりする設備投資が促進され、景気を回復させる効果が期待されます。